

データ編

I 事業実績

1 教育委員会

(1) 教育委員会開催状況

ア 月別開催状況

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
定例会	2	2	1	2	2	1	2	2	1	2	2	1	20
臨時会													0
協議会	2	2	1	2	2	1	2	2	1	2	2	1	20
計	4	4	2	4	4	2	4	4	2	4	4	2	40

イ 事項別付議状況

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
条例の制定・改廃													0
規則等の制定・改廃	2	3			2	1	1		1	1	1	5	17
人事案件	2	1					1	1			2	2	9
その他の案件	2	1	1	2	5	2	2	3	2	1	5	1	27
請願・陳情													0
協議	2	1	3		1		3			1	2		13
報告	13	10	3	7	3	6	7	5	1	5	7	4	71
計	21	16	7	9	11	9	14	9	4	8	17	12	137

ウ 個別審査事項一覧

年月日・会議名	付 議 事 案	
令和7年4月7日 第6回定例会	教育長報告1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告2	教育委員会感謝状の贈呈状況について
	教育長報告3	令和7年第1回多摩市議会定例会の報告について
	教育長報告4	第二次多摩市教育振興プランに基づく令和6年度の取り組みの実施評価について
	教育長報告5	令和7年度多摩市立図書館事業計画について
	教育長報告6	多摩市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する要綱の制定について
	教育長報告7	多摩市学校給食代替対応補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
	教育長報告8	聖ヶ丘中学校自閉症・情緒障害特別支援学級の開設について
	承認第5号	令和7年度多摩市立学校の児童及び生徒の給食費の特例に関する規則の制定を教育長の臨時代理により決定したことの承認を求めることについて
	第16号議案	第二次多摩市教育振興プラン（改訂版）に基づく令和7年度の取り組みについて
	第17号議案	多摩市学びあい育ちあい推進審議会委員の解嘱及び委嘱について
令和7年4月21日 第7回定例会	協議1	令和7年度多摩市教育委員会事務点検評価について
	教育長報告1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告2	令和6年度下半期多摩市教育委員会後援名義使用承認について
	教育長報告3	令和6年度下半期多摩市教育委員会関係市政情報の公開請求、個人情報の開示請求の状況について
	教育長報告4	令和7年度多摩市立小中学校の教育課程について
	教育長報告5	令和7年3月多摩市立中学校卒業生の進路状況について
	第18号議案	多摩市学びあい育ちあい推進審議会委員の委嘱について
	第19号議案	第二次多摩市読書活動振興計画（素案）の決定について
	第20号議案	チャレンジクラス「あたごSpace」入退級審査会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について
令和7年5月12日 第8回定例会	協議1	令和7年度多摩市教育委員会事務点検評価について
	教育長報告1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告2	令和6年度下半期多摩市教育委員会関係個人情報の開示請求の状況の一部訂正について
	教育長報告3	多摩市図書館協議会委員の決定について
	教育長報告4	第二次多摩市読書活動振興計画（素案）の一部修正について
	第21号議案	多摩市教育委員会職員の勤務時間、休憩時間等に関する規程の一部を改正する規程の制定について
	第22号議案	第二次多摩市読書活動振興計画策定委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について

年月日・会議名	付 議 事 案	
	第 2 3 号議案	令和 8 年度使用多摩市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択にかかる多摩市立小・中学校特別支援学級教科用図書選定協議会委員の任命及び委嘱について
	第 2 4 号議案	令和 8 年度使用多摩市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択にかかる多摩市立小・中学校特別支援学級教科用図書選定協議会への諮問について
令和7年5月26日 第 9 回 定 例 会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	「国登録有形文化財保存活用計画」策定に向けた進捗状況について
	教育長報告 3	令和 7 年度 児童・生徒数、学級数について
	教育長報告 4	令和 7 年 5 月 1 日現在 児童・生徒数、学級数推計（通常の学級）について
	教育長報告 5	飲用牛乳の停止状況の経過について
	教育長報告 6	学校給食異物混入（令和 6 年度分）の状況報告について
	承認第 6 号	第三次多摩市子どもの読書活動推進連絡会等設置要綱の一部を改正する要綱の制定を教育長の臨時代理により決定したことの承認を求めることについて
	協議 1	第三次多摩市特別支援教育推進計画の素案について
令和7年6月24日 第 1 0 回 定 例 会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	令和 7 年第 1 回多摩市議会臨時会の報告について
	教育長報告 3	令和 6 年度 学校給食費の納付状況について
	第 2 5 号議案	令和 7 年度多摩市教育委員会表彰の被表彰者の決定について
	協議 1	令和 7 年度多摩市教育委員会事務点検評価について
	協議 2	多摩市就学援助費補助要綱の一部改正について
	協議 3	多摩市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部改正について
令和 7 年 7 月 7 日 第 1 1 回 定 例 会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	令和 7 年第 2 回多摩市議会定例会の報告について
	教育長報告 3	「令和 7 年度多摩市立学校における働き方改革推進プラン」について
	第 2 6 号議案	第三次多摩市特別支援教育推進計画素案の決定について
令和7年7月23日 第 1 2 回 定 例 会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	日野市・多摩市の「多様な学びの場構築広域連携事業」ひのたま U L T L A プロジェクトの進捗について
	教育長報告 3	多摩市就学援助費補助要綱の一部改正について
	教育長報告 4	多摩市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部改正について
	第 2 7 号議案	令和 7 年度第 1 回多摩市総合教育会議に係る資料について
令和 7 年 8 月 4 日	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について

年月日・会議名	付 議 事 案	
第 1 3 回定例会	教育長報告 2	令和 8 年度使用多摩市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択にかかる多摩市立小・中学校特別支援学級教科用図書選定協議会からの答申について
	第 2 8 号議案	多摩市立八ヶ岳少年自然の家の食事料金及びアクティビティ料金の改定について
	第 2 9 号議案	多摩市立図書館の管理運営に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について
	協議 1	「国登録有形文化財（建造物）川井家住宅主屋及び旧川井家住宅土蔵保存活用計画（素案）」について
令和7年8月18日 第 1 4 回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	第 3 0 号議案	「国登録有形文化財（建造物）川井家住宅主屋及び旧川井家住宅土蔵保存活用計画（素案）」について
	第 3 1 号議案	多摩市公民館の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	第 3 2 号議案	令和 8 年度使用多摩市立小学校教科用図書の採択について
	第 3 3 号議案	令和 8 年度使用多摩市立中学校教科用図書の採択について
	第 3 4 号議案	令和 8 年度使用多摩市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について
令和7年9月11日 第 1 5 回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	東愛宕中学校の建物の現状について
	教育長報告 3	学校給食センター建替えに向けた進捗について
	教育長報告 4	令和 8 年度 教育課程編成ビジョンについて
	教育長報告 5	令和 7 年度全国学力・学習状況調査の結果について
	教育長報告 6	学びの多様化学校の設置について
	第 3 0 号議案	「国登録有形文化財（建造物）川井家住宅主屋及び旧川井家住宅土蔵保存活用計画（素案）」について（継続審議）
	第 3 5 号議案	第二次多摩市読書活動振興計画（原案）の決定について
	第 3 6 号議案	多摩市立図書館資料収集要綱の一部を改正する要綱の制定について
令和7年10月14日 第 1 6 回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	令和 6 年度多摩市立図書館事業評価について
	教育長報告 3	不登校総合対策 第 2 次改訂について
	承認第 7 号	多摩市教育委員会事務局職員の人事異動について教育長の臨時代理により決定したことの承認を求めることについて
	第 3 7 号議案	多摩市教育委員会会議規則の一部を改正する規則の制定について
	第 3 8 号議案	令和 7 年度上半期多摩市教育委員会表彰の被表彰者の決定について
	協議 1	令和 7 年度多摩市教育委員会事務点検評価報告書について

年月日・会議名	付 議 事 案	
令和7年10月27日 第 1 7 回 定 例 会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	令和 7 年第 3 回多摩市議会定例会の報告について
	教育長報告 3	令和 7 年度上半期多摩市教育委員会後援名義使用承認について
	教育長報告 4	令和 7 年度上半期教育委員会関係市政情報の公開請求、個人情報の開示請求の状況について
	第 3 9 号議案	令和 7 年度多摩市教育委員会事務点検評価報告書について
	協議 1	令和 8 年度教育委員会の重点事項についての意見申出書について
	協議 2	第三次多摩市特別支援教育推進計画の原案について
令和7年11月10日 第 1 8 回 定 例 会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	多摩市教育委員会事務局職員の人事に係る市長への依頼について
	教育長報告 3	多摩市図書館職員人財育成計画について
	第 4 0 号議案	令和 8 年度教育委員会の重点事項についての意見申出書について
令和7年11月25日 第 1 9 回 定 例 会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	多摩市立学校におけるいじめ重大事態について
	第 4 1 号議案	多摩市教育委員会事務局職員の人事について
	第 4 2 号議案	多摩市学校給食センター建替整備基本計画（素案）について
	第 4 3 号議案	第三次多摩市特別支援教育推進計画（原案）について
令和7年12月10日 第 2 0 回 定 例 会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	第 4 4 号議案	多摩市カスタマーハラスメント防止宣言への連名での署名にかかる協議について
	第 4 5 号議案	多摩市教育委員会事務局組織等の改正にかかる協議について
	第 4 6 号議案	多摩市立学校の通学区域等に関する規則の一部を改正する規則の制定について
令和8年1月13日 第 1 回 定 例 会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	令和 7 年第 4 回多摩市議会定例会の報告について
	教育長報告 3	多摩市教育委員会事務局組織等の改正の協議回答について
	承認第 1 号	多摩市教育委員会が管理する行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する規則の一部を改正する規則の制定を教育長の臨時代理により決定したことの承認を求めることについて
令和8年1月26日 第 2 回 定 例 会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	令和 7 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について
	第 1 号議案	スポーツ基本法第 1 0 条第 3 項の規定に基づく多摩市スポーツ推進計画（中間見直し）の策定の協議について

年月日・会議名	付 議 事 案	
	協議 1	「国登録有形文化財（建造物）川井家住宅主屋及び旧川井家住宅土蔵保存活用計画」について
令和8年2月9日 第 3 回 定 例 会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	第 2 号議案	令和 7 年度下半期多摩市教育委員会表彰の被表彰者の決定について
	第 3 号議案	「国登録有形文化財（建造物）川井家住宅主屋及び旧川井家住宅土蔵保存活用計画」について
	第 4 号議案	令和 9 年度使用多摩市立小・中学校特別支援学級教科用図書採択要綱の制定について
	協議 1	多摩市いじめ防止基本方針の改定について
令和8年2月24日 第 4 回 定 例 会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	令和 8 年第 1 回多摩市議会臨時会の報告について
	教育長報告 3	令和 8 年度当初予算原案の概要について
	教育長報告 4	多摩市教育委員会と玉川大学との連携・協力に関する協定について
	教育長報告 5	多摩市発「学びの多層化モデル～学びの冒険パスポート『たまなびパスポート』」について
	教育長報告 6	令和 7 年度学校における I C T 機器と健康に関するアンケート結果について
	承認第 2 号	校長及び副校長の任命について教育長の専決により東京都教育委員会に内申したことの承認を求めることについて
	第 5 号議案	地方自治法の一部改正に伴う、地方公共団体におけるサイバーセキュリティを確保するための方針の策定について
	第 6 号議案	多摩市学びあい育ちあい推進審議会委員の委嘱について
	第 7 号議案	多摩市学校給食センター建替整備基本計画（原案）について
	第 8 号議案	多摩市いじめ防止基本方針の改定について
	協議 1	第二次多摩市教育振興プラン（改訂版）に基づく令和 8 年度の取り組みについて
令和8年3月26日 第 5 回 定 例 会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	多摩市特定事業主行動計画の一部改定について
	教育長報告 3	多摩市立学校におけるいじめ重大事態について
	教育長報告 4	多摩市特別支援教育推進フォーラムの実施について
	承認第 3 号	多摩市公立学校教職員定期異動、指導主事等の人事（令和 8 年 4 月 1 日）を教育長の専決により処理したことの承認を求めることについて
	第 9 号議案	多摩市教育委員会事務局職員の人事異動について
	第 1 0 号議案	多摩市公立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	第 1 1 号議案	多摩市教育委員会における多摩市会計年度任用職員の任用、勤務条件等に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

年月日・会議名	付 議 事 案	
	第 1 2 号議案	第二次多摩市教育振興プラン（改訂版）に基づく令和 8 年度の取り組みについて
	第 1 3 号議案	多摩市公民館の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	第 1 4 号議案	多摩市立学校給食センター処務規程の一部を改正する規程の制定について
	第 1 5 号議案	多摩市立学校職員出勤簿整理規程の一部を改正する規程の制定について

(2) 総合教育会議

年月日・会議名	協議・調整事項
令和7年7月28日 令和7年度第1回多摩市総合教育会議	報告事項のみ
令和7年11月14日 令和7年度第2回多摩市総合教育会議	令和8年度教育委員会の重点事項について

(3) 事務点検評価

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その報告書を市議会へ提出し、公表している。

令和7年度は、以下の10事業の評価を行った。

- ・きめ細かな指導・支援の実施
- ・自然体験の機会の提供
- ・小児生活習慣病予防、歯科指導の実施
- ・外国人家庭への支援
- ・地域活動の支援
- ・防災教育の推進
- ・地域や学校と連携した事業の展開
- ・学校給食における食品ロスの削減
- ・教育相談機能の充実
- ・読書活動の推進

(4) 教育訪問

教育委員が、学校等の教育機関を訪問し、実態を把握することによって教育行政に反映させるとともに、教育機関との連携を一層緊密にするため実施している。

令和7年度は、次のとおり実施した。なお、令和4年度までは1日で1中学校区を訪問（午前中は二手に分かれて小学校2校、午後は合流して中学校1校を訪問）していたが、令和5年度からは1中学校区を2日に分けて、午前小学校1校、午後中学校1校を訪問し、別日に小学校もう1校を訪問することに変更した。

回	実施日	訪問場所
1	10月6日 10月14日	豊ヶ丘小学校、青陵中学校 貝取小学校
2	1月26日 2月2日	諏訪小学校 北諏訪小学校、諏訪中学校
3	2月9日 2月16日	瓜生小学校 永山小学校、多摩永山中学校

(5) 教育委員会表彰

年 度	3	4	5	6	7
表彰者・団体数 (件)	17	29	23	41	34

令和7年度被表彰者（敬称略）

No.	氏名（団体名）	業 績	表彰式
1	上半期表彰 比田井 秀美	永年勤続（教育委員）	令和7.6.30 (表彰式は実施せず表彰日)
2	和光 儀威	永年勤続（学校医）	令和7.11.25
3	神尾 星成 (東愛宕中3年)	第65回全国中学校水泳競技大会 男子4×100mフリーリレー 第2位 男子4×100mメドレーリレー 第4位 など	令和7.11.25
4	梅村 悠一郎 (北諏訪小5年)	公益財団法人日本書道教育学会主催第74回全日本 学生書道展 4年生条幅 学会優秀賞 公益財団法人日本書道教育学会主催令和7年書初不 二誌上展 4年生 特選	令和7.11.25
5	松林 明希 (西落合小6年)	一般財団法人全国珠算連盟主催第10回全国そろば んコンクール決勝大会 個人総合競技2部 7位 読上算競技 2部 20位	令和7.11.25
6	中宅間 縁之助 (瓜生小5年)	第24回全国小学生ソフトテニス大会 出場	令和7.11.25
7	中村 孟和 (瓜生小5年)	2024年度全国小学生ソフトテニス大会東京都予 選会 男子4年生以下の部 優勝 第24回全国小学生ソフトテニス大会 出場	令和7.11.25
8	泉 希美 (聖ヶ丘中3年)	関東中学校体操競技大会 女子個人総合 第5位 第56回全国中学校体操競技選手権大会 女子個人総合 第14位 など	令和7.11.25
9	百井 結香 (和田中3年)	第65回全国中学校水泳競技大会 女子100mバタフライ 第4位 第48回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏 季水泳競技大会 13～14歳女子200mバタフライ 第3位 など	令和7.11.25

No.	氏名 (団体名)	業 績	表彰式
10	辻村 環太 (鶴牧中2年)	全国中学生ハンドボールクラブカップ2025出場	令和7.11.25
11	諸田 彩渚 (落合中3年)	第79回国民スポーツ大会関東ブロック大会・第79回国民スポーツ大会 サッカー競技少年女子に東京都代表選手として出場	令和7.11.25
12	村井 芽衣亜 (落合中3年)	第51回東京都中学校テニス選手権大会 女子シングルス 優勝 第52回全国中学生テニス選手権大会 女子シングルス 出場	令和7.11.25
13	中村 優芯 (永山小5年)	第24回全国小学生ソフトテニス大会 出場	令和7.11.25
14	久保山 慧信 (諏訪小5年)	2024年度全国小学生ソフトテニス大会東京都予選会 男子4年生以下の部 優勝 第24回全国小学生ソフトテニス大会 出場	令和7.11.25
15	等々力 優香 (南鶴牧小5年)	日本下水道協会・日本水道新聞社共催第64回下水道の日「下水道いろいろコンクール」 新聞部門小学生の部日本水道新聞社社長賞 など	令和7.11.25
16	安藤 光寿 (南鶴牧小5年)	一般財団法人全国珠算連盟東京支部・京浜支部・西関東支部主催第1回東日本珠算選手権大会 読上算競技 5・6年生の部 3位	令和7.11.25
17	大石 結真 (多摩第二小4年)	第5回全日本少年少女極真空手道選手権大会 小四男子 準優勝	令和7.11.25
18	大石 結吾 (多摩第二小6年)	2025全関東空手道選手権大会 中級小学6年男子の部 優勝	令和7.11.25
19	多摩ハンドボールクラブ U15女子チーム	第75回東京都中学校ハンドボール選手権大会 女子の部 優勝	令和7.11.25
20	多摩ハンドボールクラブ U12男子チーム	第23回東京都少年少女ハンドボール大会 男子の部 優勝 第38回全国小学生ハンドボール大会 ベスト16	令和7.11.25
21	多摩こども郷土資料館	30年前(平成10(1988)年5月頃)に自宅を新しく建て直した際に一室を「多摩こども郷土資料館」として開放し、永年にわたり多くの方々に多摩の歴史や文化を伝え、学ぶ機会を提供された	令和7.11.25

No.	氏名 (団体名)	業 績	表彰式
	下半期表彰		
22	小林 昭一	永年勤続 (教育委員)	令和8.3.31 (表彰式は実施せず表彰日)
23	升谷 雅行	永年勤続 (学校医)	令和8.3.26
24	吉田 幸子	永年勤続 (学校薬剤師)	令和8.3.26
25	渡部 和香子 (東愛宕中)	チャレンジクラス「あたご Space」の主任として、教室環境の整備や運営方法の改善に創意工夫を凝らし、中心的役割を担って職務を遂行され、不登校生徒一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな支援を実践し、不登校率の改善に貢献された	令和8.3.26
26	關口 寿也 (連光寺小 校長)	東京都多摩市立小学校の副校長、校長として、全国及び東京都小中学校環境教育研究会に所属し、持続可能な社会づくりに資する人材育成と、SDGs達成の要となるESDの推進に尽力され、環境教育・ESDの実践と指導に大きく貢献された	令和8.3.26
27	日下 隆馬 (聖ヶ丘小2年)	ブルグミュラーコンクール2025東京11月ファイナル 小学1・2年B部門 金賞	令和8.3.26
28	朝倉 野乃香 (愛和小5年)	第26回大阪国際音楽コンクール ユース部門自由曲インファントAコース 第4位	令和8.3.26
29	石川 澪 (愛和小5年)	第26回大阪国際音楽コンクール ユース部門自由曲インファントAコース 第5位	令和8.3.26
30	穴倉 花芽 (諏訪小2年)	公益財団法人日本書道教育学会主催第75回全日本学生書道展 2年生条幅 秀作賞	令和8.3.26
31	川口 郁美 (東落合小6年)	公益財団法人日本書道教育学会主催第75回全日本学生書道展 6年生条幅 日本テレビ賞	令和8.3.26
32	飯高 実柚 (東落合小4年)	第26回大阪国際音楽コンクール ユース部門自由曲インファントAコース 第4位	令和8.3.26
33	FC多摩ジュニアユース (諏訪中・聖ヶ丘中・鶴牧中・青陵中所属生徒)	高円宮杯JFA第37回全日本U-15サッカー選手権大会 出場	令和8.3.26
34	類家 雛子 (青陵中3年)	公益財団法人生命保険文化センター主催第63回中学生作文コンクール 都道府県別賞 東京都佳作	令和8.3.26

令和7年度上半期教育委員会表彰受賞者のみなさん



令和7年度下半期教育委員会表彰受賞者のみなさん



2 学 校 教 育

(1) 学校情報環境整備事業

本事業は、1「子どもにとってわかりやすい授業の提供」、2「教職員の校務・教務の負担軽減」の2つの目的のため、情報システム及びこれに付随する機器やサポートの提供を行う。

1「子どもにとってわかりやすい授業の提供」については、平成21年度に国の補正予算による補助金を活用し、デジタルテレビ等の大型提示装置等のICT*機器を小・中学校全校に整備したことを皮切りに、平成25～28年度までの4か年で小・中学校の全校へ児童・生徒が利用する教育用端末の整備を行ってきた。これにより、児童・生徒の情報活用能力の向上を図るとともに、分かりやすい授業の実現に寄与し、児童・生徒の授業への関心も高まっている。

平成30・令和元年度においては、教育用端末の老朽化に伴い機器の更新を行うとともに、教員用や特別支援学級用など配慮が必要となる児童・生徒に向けての追加整備を行った。また、大型提示装置は多機能な電子黒板へ更新した。

令和2年度においては、文部科学省が掲げる国策事業「GIGAスクール構想」に対応するとともに、コロナ禍で子どもたちの学習保障の必要性が高まる中で、平成29年度に策定した『多摩市学校情報環境整備方針』を改訂し、児童・生徒一人1台の教育用端末を整備した。また、全普通教室へ大型提示装置（プロジェクター）を整備することで、教育用端末を中心とするICT機器の活用を促進するための環境を実現した。コロナ禍に伴う臨時休校に対応する際には、インターネット環境のない家庭へモバイルルーター等の貸し出しを行い、ICT機器を生かした家庭学習の支援についても対応を行った。これらの整備に当っては、国庫及び東京都の補助金・交付金を活用した。

教育用端末等を効果的に活用するための支援として、各学校へ専門知識を有するICT支援員の派遣委託を継続して行った。令和3年度から一人1台の教育用端末が本格的に稼働しており、令和7年度も引き続き、各学校での活用推進の支援を実施した。（令和7年度の実績は次頁の表「ICT支援員の支援（サポート実績）」のとおり）

令和6年度においては、保守期限を迎える平成30・令和元年度導入の教育用端末について、令和6年度に調達・更新し、令和7年度当初から利用を開始した。令和8年度ごろ保守期限を迎える令和2年度導入の教育用端末については、令和7年度に調達・更新し、令和8年度当初から利用を開始している。なお、令和6・7年度に調達する教育用端末は、文部科学省が進めるGIGAスクール構想第2期に基づき、補助金の交付要件でもある「都道府県単位の共同調達」のため、「東京都GIGAスクール推進協議会」に参加して共同調達により教育用端末を調達し、補助金を活用しながら整備している。また、教員の教育用端末も令和8年度当初から利用開始できるよう併せて整備した。（令和7年度末の総台数は次頁の表「小・中学校における教育用端末及び大型提示装置の総台数」とおり）

一方、文部科学省はGIGAスクール構想で高速ネットワークが不可欠として「学校のネッ

トワーク改善ブック」（令和6年4月）において、各学校のネットワーク速度に関し数値目標として推奨帯域を確保するよう改善を求めており、ネットワーク速度の改善のため令和7年度中に各学校に設置しているネットワーク機器を一部更新するとともに、インターネット回線契約の増速を実施し、推奨帯域以上の回線速度を達成した。

2「教職員の校務・教務の負担軽減」については、同じく平成21年度の補助金を活用することで、校務支援システムを導入し、小・中学校教職員一人1台のパソコンをはじめとした機器等の整備を行った。その後、平成28年度に引き続き、令和4年度にも校務支援システムの更新を行い、校務事務等をシステムで一括管理することにより、校務事務の軽減や効率化を図り、教職員の負担の軽減を進め、教職員が子どもと向き合う時間の創出を図っている。令和4年度の更新では、校務支援システムで使用するパソコンの無線化、インターネットに直結したシステム構成、静脈認証を利用した二要素認証を導入することで、さらなる校務事務の負担を軽減するための取り組みを行っている。

※ICT・・・情報通信技術（Information and Communication Technology）。
コンピュータを使った情報処理や通信技術の総称

ICT支援員の支援（サポート実績）

年 度	業務委託による教職員の授業サポート対応		
	回数	時間数	主な内容
3	632	4,428	・ICT機器を活用した授業等に関する支援 ・教職員のICTスキルを高めるための支援 ・ICT機器、校務支援用PC等の不具合時の支援 ・その他業務支援（研究授業、ホームページ支援等）
4	592	4,141	
5	639	4,469	
6	626	4,384	
7	635	4,449	

小・中学校における教育用端末及び大型提示装置の総台数

（令和8年3月末日時点）

機器名	台数	備考
令和6年度末導入教育用端末	1,000	予備機含む
令和7年度末導入教育用端末	10,600	教員用・予備機含む
大型提示装置（普通教室用）	373	予備機含む
大型提示装置（特別教室用）	160	各学校の独自調達機器は含まない

※各校の台数や予備機数は故障や転校等に応じて随時変更している

(2) 条件付学校希望制（通常の学級）

多摩市では住所に基づいて就学する学校を指定している（指定校という）が、一定の条件に該当する場合には指定校以外の学校へ就学を希望できる条件付学校希望制を、平成25年度より実施している。

翌年度の新1年生については、10月頃に申請受付を行い、希望者が受入上限人数を超えた学校については、11月中旬に公開抽選を実施する。在校生については、一定の条件に該当した場合（学区が変わる市内転居をしたが、転居前の在籍校に引き続き就学を希望する場合等）に条件付学校希望制の申請を受け付ける。なお、引き続き就学が可能な期間は学年により異なる。

令和8年度新1年生の就学状況

（令和8年4月7日時点）

	新入学 児童・生徒数	内 訳		
		学区内 居住者数	条件付学校希望制で 学区外から入学した人数	区域外就学で 他市から入学した人数
小学校	913人	894人	18人	1人
中学校	969人	942人	26人	1人

(3) 区域外就学

区域外就学は、市外に転出した児童・生徒が引き続き多摩市の学校に就学することができる制度で、市立学校に引き続き就学するときは、教育委員会（学校支援課）にて「区域外就学願」の届出を行う。

令和7年度の区域外就学者数

（令和7年5月1日時点）

	他市区町村からの 区域外就学者数	他市区町村への 区域外就学者数	合計
小学校	1人	7人	8人
中学校	4人	6人	10人

(4) 通学路の安全対策

教育委員会では、学校を通じて児童・生徒が通学する通学路の安全性を確認するとともに、通学途上の安全を確保するため、各種要望に対し現地調査を行い、通学路の警戒標識・通学路標識表示板（電柱巻きつけ標識）の設置等を行っている。

また、平成24年度から関係部署や多摩中央警察署と一緒に現地を確認する「通学路合同安全点検」を年1回実施している。

平成26年度から東京都通学路防犯設備整備補助金を活用し、小学校の通学路に防犯カメラを順次設置し、平成30年度で全小学校への設置が完了した。

なお、通学上、特に注意を必要とする箇所において、児童・生徒の安全指導を行う通学路安全整理業務従事者を委託により配置している。

指 導 員 等	人数
通学路安全整理業務従事者	8人

(5) 学校基本調査

学校教育行政に必要な学校に関する基本事項について文部科学省が行う調査で、毎年5月1日を基準日として、小学校、中学校、高等学校、大学、幼稚園、専門学校を対象に実施される。教育委員会では公立小・中学校に関する調査に回答している。

調査の結果については、国や都の教育上の諸計画を策定するための基礎資料や地方交付税算定、国庫補助金算定のための基礎数値等として利用されている。

(6) 多摩市外国人学校児童・生徒の保護者に対する補助金交付

外国人学校に在籍している在日外国人の児童・生徒の保護者に対し、経済的負担の軽減のために補助金の交付を行っている。

外国人学校児童・生徒保護者補助金交付者数

年 度	交 付 総 額	交付単価(月額)	申 請 者 数	交 付 者 数
3	24,000円	1,000円	2人	2人
4	24,000円	1,000円	2人	2人
5	24,000円	1,000円	2人	2人
6	48,000円	1,000円	4人	4人
7	36,000円	1,000円	3人	3人

(7) 小・中学校への転入学及び児童・生徒数・学級数

ア 転入学（転校）の手続き

多摩市への転入により多摩市立小・中学校に転入学する際や、学区域が変わる市内転居に伴って転校する際には、市民課での住民票の転入（転居）届とあわせて児童・生徒転（編）入学届を提出する。その後、教育委員会が発行する「転（編）入学通知書」と前学校が発行する「在学証明書」と「教科用図書給与証明書」を就学する学校に提出する。

なお、市内転居により学区域が変わったが、これまでの在籍校に引き続き就学したい場合には、条件付学校希望制の申請を行う。（項番(2)参照）

イ 多摩市外の学校に転校の手続き

多摩市外に転出し、学校を転校するときは、在学している学校が発行する「在学証明書」と「教科用図書給与証明書」を持って、転出先の教育委員会にて必要な手続きを行う。

ウ 公立小学校・中学校の児童・生徒数及び学級数（通常の学級）

小学校

令和8年5月1日現在

学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
多摩第一小	104	3	102	3	101	3	99	3	91	3	113	4	610	19
多摩第二小	60	2	49	2	68	2	52	2	65	2	71	3	365	13
多摩第三小	66	2	52	2	71	3	64	2	68	2	72	3	393	14
連光寺小	53	2	53	2	64	2	63	2	53	2	65	2	351	12
北諏訪小	60	2	58	2	83	3	84	3	75	3	90	3	450	16
東寺方小	79	3	84	3	83	3	92	3	103	3	85	3	526	18
南鶴牧小	81	3	79	3	88	3	104	3	88	3	90	3	530	18
聖ヶ丘小	38	2	38	2	40	2	39	2	52	2	55	2	262	12
西落合小	44	2	61	2	49	2	68	2	55	2	80	3	357	13
大松台小	47	2	42	2	60	2	62	2	60	2	67	2	338	12
諏訪小	41	2	41	2	37	2	49	2	73	3	60	2	301	13
永山小	58	2	60	2	59	2	44	2	50	2	60	2	331	12
瓜生小	27	1	33	1	31	1	27	1	27	1	30	1	175	6
東落合小	57	2	39	2	50	2	56	2	48	2	56	2	306	12
貝取小	25	1	28	1	33	1	28	1	33	1	30	1	177	6
豊ヶ丘小	24	1	24	1	31	1	35	1	25	1	36	2	175	7
愛和小	51	2	46	2	50	2	47	2	41	2	56	2	291	12
小学校合計	915	34	889	34	998	36	1,013	35	1,007	36	1,116	40	5,938	215

中学校

令和8年5月1日現在

学校名	1年		2年		3年		合 計	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
多摩中	124	4	116	3	121	4	361	11
東愛宕中	82	3	55	2	62	2	199	7
東愛宕中 (あたごSpace)	2	1	9	1	16	1	27	3
和田中	134	4	134	4	139	4	407	12
諏訪中	119	4	118	3	130	4	367	11
聖ヶ丘中	98	3	104	3	101	3	303	9
鶴牧中	139	4	126	4	119	3	384	11
多摩永山中	83	3	73	2	76	2	232	7
落合中	119	4	104	3	99	3	322	10
青陵中	69	2	64	2	81	2	214	6
中学校合計	969	32	903	27	944	28	2,816	87

エ 特別支援学級・特別支援教室の児童・生徒数

(7) 特別支援学級（固定学級、通級指導学級）

小学校

令和8年5月1日現在

学校名	児童・生徒数							学級数				
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	言語	難聴	知的	情緒	計
多摩第二小（にじ組）	3	5	9	13	7	13	50	—	—	—	7	7
北諏訪小（きこえ）	(0)	(2)	(0)	(1)	(1)	(1)	(5)	—	(1)	—	—	(1)
（ことば）	(3)	(14)	(15)	(8)	(3)	(3)	(46)	(3)	—	—	—	(3)
東寺方小（こま）	6	6	4	6	7	6	35	—	—	5	—	5
南鶴牧小（ふたば）	7	8	5	6	7	10	43	—	—	—	6	6
諏訪小（なかよし）	0	3	2	3	5	5	18	—	—	—	3	3
永山小（わかくさ）	4	8	9	6	10	6	43	—	—	6	—	6
東落合小（さくら 4組）	4	0	7	6	5	1	23	—	—	3	—	3
貝取小（みどり）	4	3	8	6	8	8	37	—	—	—	5	5
小学校計	28 (3)	33 (16)	44 (15)	46 (9)	49 (4)	49 (4)	249 (51)	— (3)	— (1)	14 —	21 —	35 (4)

※カッコ内は通級指導学級

中学校

令和8年5月1日現在

学校名	児童・生徒数							学級数				
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	言語	難聴	知的	情緒	計
多摩中（1組）	9	16	14	—	—	—	39	—	—	—	5	5
和田中（5組）	7	11	6	—	—	—	24	—	—	3	—	3
諏訪中（5組）	10	1	6	—	—	—	17	—	—	3	—	3
聖ヶ丘中（5組）	5	1	0	—	—	—	6	—	—	—	1	1
落合中（5組）	8	8	10	—	—	—	26	—	—	4	—	4
青陵中（5組）	9	16	10	—	—	—	35	—	—	—	5	5
中学校計	48	53	46	—	—	—	147	—	—	10	11	21

(イ) 特別支援教室

小学校

令和8年5月1日現在

学校名		児童数						合計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
拠点校	多摩第一小学校	3	6	7	6	5	2	29
巡回校	多摩第二小学校	4	4	17	5	6	5	41
巡回校	東寺方小学校	5	6	8	9	16	3	47
拠点校	聖ヶ丘小学校	0	1	4	5	5	2	17
巡回校	連光寺小学校	1	4	6	8	5	4	28
拠点校	西落合小学校	3	3	5	6	9	7	33
巡回校	東落合小学校	4	2	6	3	4	3	22
拠点校	大松台小学校	3	5	6	6	2	1	23
巡回校	南鶴牧小学校	3	6	3	4	6	3	25
拠点校	諏訪小学校	1	2	4	3	5	6	21
巡回校	北諏訪小学校	3	6	1	8	3	3	24
拠点校	瓜生小学校	0	5	3	3	5	5	21
巡回校	永山小学校	4	8	12	4	2	5	35
拠点校	豊ヶ丘小学校	1	4	4	14	2	9	34
巡回校	貝取小学校	0	2	4	5	5	3	19
拠点校	愛和小学校	4	9	10	8	5	7	43
巡回校	多摩第三小学校	3	7	3	7	7	9	36
合計		42	80	103	104	92	77	498

中学校

令和8年5月1日現在

学校名		生徒数			
		1年	2年	3年	合計
巡回校	多摩中学校	5	2	1	8
巡回校	東愛宕中学校	6	6	5	17
巡回校	和田中学校	8	2	1	11
巡回校	諏訪中学校	6	4	4	14
巡回校	聖ヶ丘中学校	2	4	3	9
巡回校	鶴牧中学校	6	4	3	13
拠点校	多摩永山中学校	6	3	8	17
巡回校	落合中学校	5	3	2	10
巡回校	青陵中学校	1	5	5	11
合計		45	33	32	110

(8) 学校保健

ア 各種検査・健診状況

児童・生徒の健康管理及び健康の保持・増進を図るための健康診断として、次の検査を実施している。

(ア) 貧血検査

対 象：女子 中学校2～3年生のうち、保護者の希望する者

男子 中学校2～3年生のうち、中学校1（2）年生時に未受診で、保護者の希望する者

（小5・中1については、小児生活習慣病予防健診で実施）

方 法：前肘部静脈採血により、血色素量、赤血球数、白血球数、ヘマトクリット値、MCV、MCH、MCHCを調べる。

目 的：小児期の急激な身体の発育に伴う栄養素（特に鉄分）の不足等による無自覚性の貧血を早期に発見し、児童・生徒が健全な学校生活を送るための健康管理の一助とする。

(イ) 小児生活習慣病予防健診

対 象：児童 小学校5年生で保護者が希望した者

小学校6年生で次に該当する者で保護者が希望した者

イ 他地区からの転入者

生徒 中学校1年生で保護者が希望した者

中学校2・3年生で次に該当する者で保護者が希望した者

イ 「中学校2・3年生の次年度経過観察者抽出基準」に該当した者

ロ 他地区からの転入者

方 法：身長・体重計測値より肥満度の算出、血液検査（総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、貧血）、血圧測定

目 的：子どもの生活習慣病のうち、動脈硬化、高血圧、高脂血症、肥満、痩せすぎ等の恐れのある児童・生徒を早期に発見し、健全な学校生活を送るための一助とする。

児童・生徒各種健康診断結果の年度別推移

年度	検 査 項 目	小 学 校			中 学 校		
		検査 人員 人	陽性 者数 人	率 %	検査 人員 人	陽性 者数 人	率 %
3	貧 血 検 査	881	9	1.02	1,587	88	5.55
	小児生活習慣病予防健診	884	—	—	891	—	—
4	貧 血 検 査	856	15	1.75	1,534	116	7.56
	小児生活習慣病予防健診	862	—	—	914	—	—
5	貧 血 検 査	812	14	1.72	1,382	95	6.87
	小児生活習慣病予防健診	818	—	—	822	—	—
6	貧 血 検 査	862	17	1.97	1,377	94	6.83
	小児生活習慣病予防健診	865	—	—	792	—	—
7	貧 血 検 査	797	9	1.13	1,328	91	6.85
	小児生活習慣病予防健診	798	—	—	738	—	—

イ 腎臓病検診（糖尿病検診）

若年者の無症候性の尿異常及び腎疾患並びに糖尿病の早期発見と定期的に健康状態を管理し、かつ、異常者を早期治療に導くために、昭和62年度から尿検査の一次、二次検査に三次検査を追加し、腎臓病検診（糖尿病検診）として検査を充実し、学校集団生活における健康管理に努めている。

対 象：児童・生徒

方 法：一次－蛋白、糖、潜血、pH（試験紙法）

※必要により、蛋白/クレアチニン比（定量）

二次－蛋白、糖、潜血、pH（試験紙法）

蛋白/クレアチニン比（定量）、尿検査（鏡検法）

三次－腎臓病……（ア）専門医による問診・診察、身長・体重・血圧の測定

（イ）検尿 早朝第一尿、随時尿

（ウ）血液検査

ヘモグロビン、ヘマトクリット、赤血球数、白血球数、
CRP、総蛋白、A/G比、アルブミン、総コレステ
ロール、尿素窒素（BUN）、クレアチニン、eGFR、補体（C3）

（エ）必要により、腎臓超音波検査

糖尿病……専門医による診察、尿糖検査、血糖、HbA1c、GAD、
GPT、トリグリセライド、インスリン、ブドウ糖負荷試験
（医師の指示による）

児童・生徒腎臓病検診の年度別検診結果の推移

校 種	年 度	第一次検査受診者			第二次検査受診者			三 次 検 査 対 象 者 人	有所見者		有 所 見 者 内 訳													
		人	陽性者		人	陽性者					腎 炎		腎炎の疑い		血 尿		微小血尿		蛋白尿		尿路感染症		再検査	
			人	%		人	人				%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人
小 学 校	3	6,908	231	3.34	222	124	1.80	108	53	0.77					20	0.29	26	0.38	3	0.04	3	0.04		
	4	6,668	196	2.94	183	77	1.15	61	49	0.73			4	0.06	13	0.19	20	0.30	5	0.07	6	0.09		
	5	6,584	206	3.13	191	98	1.49	78	60	0.91			2	0.03	13	0.20	38	0.58	7	0.11				
	6	6,483	97	1.50	87	19	0.29	12	9	0.14			2	0.03	3	0.05			4	0.06				
	7	6,352	82	1.29	76	18	0.28	11	6	0.09					3	0.05			2	0.03	1	0.02		
中 学 校	3	3,086	217	7.03	209	73	2.37	58	11	0.36					2	0.06	2	0.06	5	0.16	1	0.03		
	4	3,080	220	7.14	207	70	2.27	59	30	0.97			2	0.06	2	0.06	5	0.16	21	0.68				
	5	3,030	259	8.55	243	81	2.67	60	31	1.02					3	0.10	13	0.43	14	0.46				
	6	2,937	152	5.18	136	19	0.65	12	5	0.17					2	0.07			3	0.10				
	7	2,818	139	4.93	121	27	0.96	13	8	0.28			1	0.04	1	0.04			4	0.14	1	0.04	1	0.04

※令和6年度より「学校検尿のすべて」（日本学校保健会発行）に基づき、検診方法を変更した

児童・生徒糖尿病検診の年度別検診結果の推移

校 種	年 度	第一次検査対象者			第二次検査対象者			対三 象次 者検 査人	有所見者		有所見者の内訳					
		人	陽性者		人	陽性者					糖尿病		糖尿病の疑い		その他	
			人	%		人	人		%	人	%	人	%	人	%	
小 学 校	3	6,908	6	0.09	5	3	0.04	3	0	0.00						
	4	6,668	7	0.10	6	1	0.01	0	0	0.00						
	5	6,584	4	0.06	4	0	0.00	0	0	0.00						
	6	6,483	5	0.08	4	1	0.02	1	0	0.00						
	7	6,352	4	0.06	4	1	0.02	0	0	0.00						
中 学 校	3	3,086	5	0.16	5	2	0.06	1	0	0.00						
	4	3,080	4	0.13	3	1	0.03	1	0	0.00						
	5	3,030	4	0.13	4	0	0.00	0	0	0.00						
	6	2,937	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00						
	7	2,818	2	0.07	0	0	0.00	0	0	0.00						

ウ 心臓検診

潜在的な心疾患を有する児童・生徒の発見及び手術済あるいはまだ管理されていない心疾患を有する児童・生徒の発見をし、正確適正な管理指導を行い、児童・生徒が健全な学校生活を送るための一助とする。

対 象：① 小学校１年生及び中学校１年生

② その他の学年の児童・生徒で、次に該当する者

イ 前年度以前の検診の結果で、次年度再検の指示があった者

ロ 学校医の指示のある者

ハ 他地区からの転入者で心臓検診未実施の者

心臓検診の検診結果の年度別推移

校 種	年 度	一次検査 受診者 人	二次対象者		有所見者		有所見者内訳（人）（％）							
							先天性心疾患		後天性心疾患		その他の心疾患		心電図異常	
			人	％	人	％	人	％	人	％	人	％	人	％
小 学 校	3	1,155	22	1.90	20	1.73	9	0.78	1	0.09			10	0.87
	4	1,043	33	3.16	18	1.73	10	0.96					8	0.77
	5	1,047	20	1.91	14	1.34	7	0.67					7	0.67
	6	1,037	30	2.89	15	1.45	6	0.58					9	0.87
	7	934	26	2.78	20	2.14	12	1.28	1	0.11			7	0.75
中 学 校	3	1,030	32	3.10	25	2.43	12	1.17	1	0.10			12	1.17
	4	1,070	38	3.55	18	1.68	7	0.65					11	1.03
	5	983	35	3.56	22	2.24	7	0.71					15	1.53
	6	969	44	4.54	12	1.24	2	0.21					10	1.03
	7	944	32	3.39	19	2.01	11	1.17			1	0.11	7	0.74

エ 結核健診

(7) 目的

児童・生徒が万が一結核に罹患した場合、健康上だけでなく教育上の重大な影響があるため、平成24年3月に文部科学省が策定した「学校における結核対策マニュアル」に基づき結核健診をおこなう。問診票による調査を実施し、学校医の判断及び必要に応じて保健所や結核の専門医の助言を受けた上で、結核の精密検査の対象者を教育委員会が決定し、検査を実施する。

※平成14年度まで・・・小学校1年生、中学校1年生にツベルクリン反応検査実施

※平成15年度以降・・・児童・生徒全員に対する問診票による調査実施

(イ) 健診の実施

結核健診は、全学年に対して行う。

a 問診票による調査

学校長は、全学年の児童・生徒に対し結核に関する健康調査として「結核健診問診票」を保護者宛に配付し、結核罹患歴、予防内服歴、家族等の結核罹患歴、高まん延国での居住歴、自覚症状（2週間以上の咳や痰）、BCG接種状況歴の調査を行う。

b 学校医による内科健診及び報告

学校医による内科健診に際して、結核健診問診票の記載事項と診察により精密検査の必要があると指示があった場合には、学校長は必ず把握し、教育委員会に報告する。

c 精密検査対象者の決定

教育委員会は、学校長より報告のあった児童・生徒の結核健診問診票及び内科健診の所見に基づき、結核専門医及び保健所の助言を得て、精密検査が必要と認められる対象者を決定する。

d 精密検査の実施

教育委員会は、精密検査対象者に対し胸部エックス線撮影による精密検査を健診機関に委託して実施する。

e 精密検査の事後措置

教育委員会は、精密検査の結果を検査実施機関から受け、要医療、経過観察、異常なしの児童・生徒に分け、学校等に報告する。

要医療、経過観察の児童・生徒に対しては、本人及び保護者に対して、治療や検診、定期的な管理について説明を行い、その後の保健管理、保健指導及び健康相談等が、学校医の指導を受けながら適切に行われるようにする。

結核健診の健診結果の年度別推移

校 種	年 度	X 線 直 接 撮 影		
		人	要医療（予防内服含む）	
			人	%
小 学 校	3	16	0	0.00
	4	15（※1）	0	0.00
	5	11	0	0.00
	6	13	0	0.00
	7	14	0	0.00
中 学 校	3	6	0	0.00
	4	0	0	0.00
	5	4	0	0.00
	6	0	0	0.00
	7	2	0	0.00

※1 問診のみの人数（1人）を含む

オ 脊柱側わん検診

側わん症とは、脊柱が横に曲がり、さらにねじれてしまう病気で、進行すると種々の障害を引き起こす原因となる。

さらに、この病気は原因がまだはっきりしない特発性側わん症が非常に多く、また、発症年齢は思春期、すなわち小学校上級生（5・6年生）頃から中学生にかけて最も多く、女子に多いのが特徴である。

当市では、科学的検査方法を導入し、その早期発見に努めている。

対 象：

- ① 小学校5年生・中学校1年生のうち、保護者の希望のある者
- ② 他学年生で内科健診の結果、学校医より脊柱側わん検診受診と指示された者及び学校長等による抽出者
- ③ その他の学年の児童・生徒で、前年度の検診結果により、次年度再検査と指示されている者

方 法：一次検診－三次元モアレ画像撮影

二次検診－専門医の診察（コブ度数の計測・指導）

直接エックス線撮影（立位全脊柱）

身長・体重計測

脊柱側わん検診結果の年度別推移（小学校）

		性別	一次検診・モアレ撮影								二次検診・専門医の診察／直接X線撮影									
			受診者	要二次検査		病院管理		次年度再検診		受診者	要治療		要観察イ (3～6ヵ月後)		要観察ロ (1年後)		次年度 X-P再検査			
			人	人	%	人	%	人	%	人	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
3 年 度	5 年 生	男女計	540	1	0.2	0	0.0	17	3.2	1	0.2	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
			552	5	0.9	0	0.0	44	8.0	5	0.9	1	0.2	1	0.2	0	0.0	3	0.5	
			1,092	6	0.6	0	0.0	61	5.6	6	0.6	2	0.2	1	0.1	0	0.0	3	0.3	
	他 学 年	男女計	24	1	4.2	0	0.0	9	37.5	1	4.2	0	0.0	1	4.2	0	0.0	0	0.0	
			39	9	23.1	0	0.0	13	33.3	9	23.1	1	2.6	2	5.1	0	0.0	5	12.8	
			63	10	15.9	0	0.0	22	34.9	10	15.9	1	1.6	3	4.8	0	0.0	5	7.9	
4 年 度	5 年 生	男女計	563	0	0.0	0	0.0	14	2.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
			525	17	3.2	0	0.0	42	8.0	16	3.0	3	0.6	8	1.5	0	0.0	5	1.0	
			1,088	17	1.6	0	0.0	56	5.2	16	1.5	3	0.3	8	0.7	0	0.0	5	0.5	
	他 学 年	男女計	22	0	0.0	0	0.0	4	18.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
			44	9	20.5	0	0.0	12	27.3	9	20.5	2	4.5	2	4.5	0	0.0	5	11.4	
			66	9	13.6	0	0.0	16	24.2	9	13.6	2	3.0	2	3.0	0	0.0	5	7.6	
5 年 度	5 年 生	男女計	554	2	0.4	0	0.0	9	1.6	2	0.4	0	0.0	2	0.4	0	0.0	0	0.0	
			485	10	2.1	0	0.0	38	7.8	9	1.9	1	0.2	5	1.0	0	0.0	3	0.6	
			1,039	12	1.2	0	0.0	47	4.5	11	1.1	1	0.1	7	0.7	0	0.0	3	0.3	
	他 学 年	男女計	20	0	0.0	0	0.0	5	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
			39	14	35.9	0	0.0	11	28.2	13	33.3	2	5.1	4	10.3	0	0.0	4	10.3	
			59	14	23.7	0	0.0	16	27.1	13	22.0	2	3.4	4	6.8	0	0.0	4	6.8	
6 年 度	5 年 生	男女計	585	1	0.2	0	0.0	11	1.9	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
			543	3	0.6	0	0.0	39	7.2	3	0.6	3	0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
			1,128	4	0.4	0	0.0	50	4.4	4	0.4	3	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	他 学 年	男女計	17	2	11.8	0	0.0	3	17.6	2	11.8	1	5.9	1	5.9	0	0.0	0	0.0	
			43	10	23.3	0	0.0	16	37.2	10	23.3	0	0.0	5	11.6	0	0.0	4	9.3	
			60	12	20.0	0	0.0	19	31.7	12	20.0	1	1.7	6	10.0	0	0.0	4	6.7	
7 年 度	5 年 生	男女計	556	0	0.0	0	0.0	8	1.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
			548	9	1.6	0	0.0	32	5.8	8	1.5	4	0.7	1	0.2	0	0.0	3	0.5	
			1,104	9	0.8	0	0.0	40	3.6	8	0.7	4	0.4	1	0.1	0	0.0	3	0.3	
	他 学 年	男女計	20	1	5.0	1	5.0	5	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
			40	13	32.5	0	0.0	9	22.5	9	22.5	1	2.5	3	7.5	0	0.0	4	10.0	
			60	14	23.3	1	1.7	14	23.3	9	15.0	1	1.7	3	5.0	0	0.0	4	6.7	

（注） 率（％）は一次受診者数に対してのものである

《共通》 要 治 療：専門の整形外科医による治療が必要な人

要観察イ：専門の整形外科医のもとで3～6ヶ月後にもう一度、診察を受けることが必要な人

要観察ロ：専門の整形外科医のもとで1年後にもう一度、診察を受けることが必要な人

次年度X-P再検査：次年度の検診時、直接X線撮影を受けることが必要な人

脊柱側わん検診結果の年度別推移（中学校）

		性別	一次検診・モアレ撮影								二次検診・専門医の診察／直接X線撮影									
			受診者		要二次検査		病院管理		次年度再検診		受診者		要治療		要観察イ (3～6ヵ月後)		要観察ロ (1年後)		次年度 X-P再検査	
			人		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
3 年 度	1 年 生	男女計	496	0	0	0.0	36	7.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
			458	22	4.8	1	0.2	50	10.9	15	3.3	0	0.0	8	1.8	0	0.0	6	1.3	
			954	22	2.3	1	0.1	86	9.0	15	1.6	0	0.0	8	0.8	0	0.0	6	0.6	
	他 学 年	男女計	60	13	21.7	0	0.0	6	10.0	9	15.0	0	0.0	1	1.7	1	1.7	3	5.0	
			107	38	35.5	0	0.0	26	24.3	28	26.2	2	1.9	7	6.5	7	6.5	8	7.5	
			167	51	30.5	0	0.0	32	19.2	37	22.2	2	1.2	8	4.8	8	4.8	11	6.6	
4 年 度	1 年 生	男女計	536	7	1.3	0	0.0	25	4.7	3	0.6	0	0.0	3	0.6	0	0.0	0	0.0	
			466	22	4.7	1	0.2	72	15.5	16	3.4	0	0.0	6	1.3	0	0.0	8	1.7	
			1,002	29	2.9	1	0.1	97	9.7	19	1.9	0	0.0	9	0.9	0	0.0	8	0.8	
	他 学 年	男女計	61	6	9.8	0	0.0	16	26.2	5	8.2	0	0.0	0	0.0	1	1.6	2	3.3	
			83	29	34.9	0	0.0	13	15.7	18	21.7	0	0.0	8	9.6	4	4.8	1	1.2	
			144	35	24.3	0	0.0	29	20.1	23	16.0	0	0.0	8	5.6	5	3.5	3	2.1	
5 年 度	1 年 生	男女計	449	3	0.7	0	0.0	30	6.7	2	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.5	
			451	22	4.9	3	0.7	52	11.5	17	3.8	0	0.0	5	1.1	0	0.0	9	2.0	
			900	25	2.8	3	0.3	82	9.1	19	2.1	0	0.0	5	0.6	0	0.0	11	1.2	
	他 学 年	男女計	47	17	36.2	0	0.0	5	10.6	11	23.4	0	0.0	0	0.0	2	4.3	3	6.4	
			105	24	22.9	0	0.0	33	31.4	18	17.1	3	2.9	7	6.7	1	1.0	1	1.0	
			152	41	27.0	0	0.0	38	25.0	29	19.1	3	2.0	7	4.6	3	2.0	4	2.6	
6 年 度	1 年 生	男女計	476	4	0.8	0	0.0	25	5.3	2	0.4	0	0.0	1	0.2	0	0.0	1	0.2	
			428	14	3.3	2	0.5	52	12.1	6	1.4	2	0.5	0	0.0	0	0.0	3	0.7	
			904	18	2.0	2	0.2	77	8.5	8	0.9	2	0.2	1	0.1	0	0.0	4	0.4	
	他 学 年	男女計	44	1	2.3	0	0.0	10	22.7	1	2.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
			100	37	37.0	0	0.0	22	22.0	25	25.0	1	1.0	10	10.0	5	5.0	4	4.0	
			144	38	26.4	0	0.0	32	22.2	26	18.1	1	0.7	10	6.9	5	3.5	4	2.8	
7 年 度	1 年 生	男女計	458	1	0.2	0	0.0	18	3.9	1	0.2	0	0.0	1	0.2	0	0.0	0	0.0	
			416	14	3.4	4	1.0	42	10.1	10	2.4	0	0.0	5	1.2	0	0.0	4	1.0	
			874	15	1.7	4	0.5	60	6.9	11	1.3	0	0.0	6	0.7	0	0.0	4	0.5	
	他 学 年	男女計	41	7	17.1	0	0.0	8	19.5	3	7.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.4	
			85	18	21.2	0	0.0	22	25.9	9	10.6	0	0.0	1	1.2	4	4.7	2	2.4	
			126	25	19.8	0	0.0	30	23.8	12	9.5	0	0.0	1	0.8	4	3.2	3	2.4	

（注） 率（％）は一次受診者数に対してのものである

《共通》 要 治 療：専門の整形外科医による治療が必要な人

要観察イ：専門の整形外科医のもとで3～6ヵ月後にもう一度、診察を受けることが必要な人

要観察ロ：専門の整形外科医のもとで1年後にもう一度、診察を受けることが必要な人

次年度X-P再検査：次年度の検診時、直接X線撮影を受けることが必要な人

カ 就学時健康診断

小学校の就学予定者に対し、あらかじめ健康診断を行うことにより、その栄養状態や健康状態を把握する。この結果に基づき、治療を勧告し、保健上必要な助言や就学に関する指導等を行う。

対 象：学校教育法施行令第2条の規定によりあらかじめ作成された学齢簿に記載された就学予定者

キ 学校環境衛生

(ア) 飲料水の検査

小・中学校における飲料水の衛生管理（給水設備の管理、水質検査の実施等）の徹底を図り、飲料水を起因とする赤痢等消化器系感染症の事故防止について万全を期する。

塩化物イオン、有機物（全有機炭素（TOC）の量）、一般細菌、大腸菌、水素イオン濃度、臭気、味、色度、濁度、残留塩素濃度の10項目の定期検査を実施する。必要に応じて臨時検査を実施する。

(イ) プール水の水質検査

中学校におけるプールの水質を保持するため、水質検査を実施する。

プール実施期間に毎月1回、pH値、有機物（過マンガン酸カリウム消費量）、一般細菌、大腸菌、濁度、遊離残留塩素濃度の検査を行い、プール開催期間中1回、総トリハロメタンの検査を実施する。必要に応じて臨時検査を実施する。



多摩中学校 可動式屋根のプール（体育館棟）

(ウ) 教室の環境衛生検査

小・中学校において、教室の環境検査を実施する。快適な教室環境を保持し、学習能率の向上と児童・生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。

学校薬剤師により、夏季にホルムアルデヒド・トルエン等、冬季にホルムアルデヒド・CO・CO₂・照度等の検査を全校で実施する。

ク 多摩市学校保健会

多摩市学校保健会は、多摩市立学校児童・生徒及び、教職員の健康保持増進と学校保健活動の充実発展並びに会員の資質向上を目的とする団体である。この活動を支援し、多摩市の学校保健の水準向上を図る。

ケ 学校保健委員会の活動促進

学校保健委員会は、学校保健計画を策定し、学校における健康の問題に対して、学校と家庭・地域が連携して研究協議し、対策を実施するための、校長の諮問機関である。

平成18年度から多摩市立小・中学校全校に設置されており、今後は委員会活動の活性化を促進していく。

学校保健委員会設置状況

小学校 全校（17校） 中学校 全校（9校）

(9) 独立行政法人 日本スポーツ振興センター災害共済給付

独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付は、児童・生徒が学校の管理下（授業中、校外活動、登下校中等）において事故等にあった場合において、医療費の4割が支給される制度であり、また万一障害を残したり、あるいは死亡した場合は、その程度により見舞金が支給される制度である。

掛金及び給付状況

区 分 \ 年 度	3	4	5	6	7
児童・生徒一人当たり掛金	935 円	935 円	935 円	935 円	935 円
掛 金 総 額	9,239,225 円	9,049,505 円	8,935,915 円	8,714,645 円	8,522,475 円
契約幼児・児童・生徒総数	10,079 人	9,867 人	9,717 人	9,579 人	9,306 人
医 療 費 給 付 件 数	672 件	710 件	736 件	673 件	628 件
給 付 総 額	4,883,806 円	5,334,058 円	5,789,786 円	5,264,526 円	4,984,147 円
給 付 率	52.9%	58.9%	64.8%	60.4%	58.5%

(10) 就学援助制度

就学援助制度とは、経済的理由により就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に対して、教育費の一部を多摩市が援助する制度である。

ア 就学援助費支給対象児童・生徒数及び援助額（給食費援助は除く）

※年度内の認定者等の総数

(7) 就学予定児童

年度	援助対象就学予定児童数	援助額（新入学準備金）
3	61 人	3,114,660 円
4	69 人	3,730,140 円
5	74 人	4,000,440 円
6	63 人	3,594,780 円
7	61 人	3,480,660 円

(イ) 小学校

年度	援助対象児童数		申請者数	援助額 (新入学準備金を含む)
	要保護児童数	準要保護児童数		
3	54 人	558 人	1,002 人	20,307,696 円
4	49 人	525 人	913 人	20,389,487 円
5	41 人	506 人	850 人	20,109,935 円
6	49 人	483 人	845 人	19,417,936 円
7	47 人	452 人	787 人	18,108,913 円

(ロ) 中学校

年度	援助対象生徒数		申請者数	援助額
	要保護生徒数	準要保護生徒数		
3	56 人	347 人	686 人	13,047,859 円
4	48 人	331 人	619 人	17,746,723 円
5	38 人	307 人	549 人	16,142,574 円
6	28 人	290 人	490 人	15,360,501 円
7	23 人	248 人	439 人	12,253,950 円

(11) 就学奨励制度

就学奨励制度とは、心身に障がいのある児童・生徒の就学を奨励するため、保護者に対して、教育費の一部を多摩市が補助する制度である。

ア 特別支援教育就学奨励費支給対象児童・生徒数及び援助額

(ア) 小学校

年度	援助対象児童数	援助額
3	112 人	2,411,424 円
4	125 人	2,736,630 円
5	146 人	3,749,068 円
6	159 人	4,508,753 円
7	167 人	4,994,834 円

(イ) 中学校

年度	援助対象生徒数	援助額
3	94 人	4,809,722 円
4	98 人	4,735,166 円
5	98 人	4,805,635 円
6	96 人	5,374,470 円
7	97 人	5,569,132 円

(12) 学校災害賠償補償保険

全国市長会学校災害賠償補償保険は、学校管理下において児童・生徒・保護者等が急激かつ偶然な事故により死亡・後遺障害もしくは入院・通院を伴う傷害を被った場合に、保険会社から補償金（お見舞金）が支払われるものである。

多摩市立小中学校の児童・生徒に対して、公費により加入している。

年 度 区 分	3	4	5	6	7
一人当たりの掛金	198.53 円	198.53 円	198.53 円	198.53 円	198.53 円
掛 金 総 額	2,000,189 円	2,000,983 円	1,958,895 円	1,929,115 円	1,900,923 円
契約児童・生徒数	10,075 人	10,079 人	9,867 人	9,717 人	9,575 人
事 故 報 告 件 数	19 件	27 件	29 件	21 件	25 件
保 険 請 求 件 数	24 件	24 件	32 件	20 件	22 件
給 付 総 額	860,000 円	705,000 円	1,305,000 円	610,000 円	825,000 円

※「事故報告件数」、「保険請求件数」、「給付総額」については、当該年度中の報告、請求件数及び金額を集計しており、前年度以前に発生した事故に関するものも含まれる

(13) 学校給食

ア 学校給食用物資の購入

学校給食用の食材については、学校給食物資取扱要項により、その規格基準を定め、安全で新鮮な食材料の購入に努めている。

食材料の納入業者は2年毎に業者登録を行い、入札により納入業者を決定し購入をしている。

令和7年5月1日現在 登録業者数	28業者
令和7年度物資購入額	640,881,075円

イ 学校給食センター運営委員会

多摩市立学校給食センターの運営に関し、重要な事項について教育委員会から諮問を受け、審議及び必要に応じ調査、研究等を行うとともに、学校給食センターの運営を適正かつ円滑な運営のために、学校給食センター運営委員会を設置している。

令和7年度の会議の主な内容は、以下のとおりである。

開催回数 4回

令和7年 7月	今年度の学校給食センター運営委員会について
令和7年11月	令和6年度多摩市立学校給食センター給食費会計決算書（案）について
令和7年12月	多摩市立学校給食センター建替整備基本計画(素案)について
令和8年 2月	令和8年度多摩市立学校給食センター給食費会計予算書（案）について

委 員 13人

市立小中学校長代表	2人	市立小中学校給食主任代表	2人
市立小中学校保護者代表	2人	公募市民	2人
所轄保健所長が指名した者	1人	関係行政機関の職員	1人
学識経験者	3人		

任 期 2年

ウ 学校給食実施状況

(給食対象者は各年度5月1日現在)

年度	センター（調理所）別	給食対象人員 (人)	給食延べ食数（食）
3	南野調理所 (内 学校法人帝京大学小学校)	5,756 (331)	1,039,148 (55,624)
	永山調理所	5,687	1,057,405
	合 計	11,443	2,096,553
4	南野調理所 (内 学校法人帝京大学小学校)	5,480 (322)	1,054,006 (59,660)
	永山調理所	5,553	1,075,466
	合 計	11,033	2,129,472
5	南野調理所 (内 学校法人帝京大学小学校)	5,338 (320)	1,057,640 (60,862)
	永山調理所	5,520	1,036,971
	合 計	10,858	2,094,611
6	南野調理所 (内 学校法人帝京大学小学校)	5,215 (309)	965,059 (55,602)
	永山調理所	5,503	1,001,283
	合 計	10,718	1,966,342
7	南野調理所 (内 学校法人帝京大学小学校)	5,213 (320)	936,164 (56,177)
	永山調理所	5,415	982,093
	合 計	10,628	1,918,257



エ 学校給食費の推移

区分 改定年月	小 学 校				中 学 校	
	低学年月額(円)		中学年月額(円)	高学年月額(円)	中学校月額(円)	
平成 31 年 4 月	1 年生	2 年生	4, 240	4, 510	1・2 年生	3 年生
	3, 930	4, 020			4, 650	5, 000

改定年月	区 分		牛乳あり	牛乳なし	牛乳(飲料)のみ
			月額	月額	月額
令 和 2 年 4 月	小学校	1年生	4, 050円 (4, 420円)	3, 040円 (3, 320円)	1, 040円 (1, 130円)
		2年生	4, 140円 (4, 420円)	3, 090円 (3, 320円)	1, 060円 (1, 130円)
		3・4年生	4, 360円 (4, 650円)	3, 330円 (3, 540円)	1, 060円 (1, 130円)
		5・6年生	4, 630円 (4, 920円)	3, 590円 (3, 820円)	1, 060円 (1, 130円)
	中学校	1・2年生	4, 760円 (5, 410円)	3, 810円 (4, 310円)	980円 (1, 130円)
		3年生	5, 110円 (5, 260円)	4, 100円 (4, 190円)	1, 050円 (1, 100円)
令 和 5 年 4 月	小学校	1年生	4, 300円	3, 210円	1, 110円
		2年生	4, 390円	3, 280円	1, 130円
		3・4年生	4, 650円	3, 540円	1, 130円
		5・6年生	4, 940円	3, 830円	1, 130円
	中学校	1・2年生	5, 070円	4, 050円	1, 040円
		3年生	5, 450円	4, 360円	1, 120円
令 和 7 年 1 月	小学校	1年生	4, 930円	3, 790円	1, 160円
		2年生	5, 030円	3, 870円	1, 190円
		3・4年生	5, 360円	4, 200円	1, 190円
		5・6年生	5, 720円	4, 560円	1, 190円
	中学校	1・2年生	5, 900円	4, 830円	1, 090円
		3年生	6, 340円	5, 200円	1, 170円

※令和2年度より「牛乳あり・なし、牛乳のみ」の3種類に費用体系を細分化した

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4・5月は学校休業。6月・8月の簡易給食については市費負担。7月分及び9～3月分の8カ月を保護者より徴収した

※令和5年度までは給食費の一部を保護者負担としていたが、令和6年4月より児童・生徒の学校給食費は全額公費負担とした

オ 令和7年度学校・家庭連携事業

学校給食を通して学校、地域の保護者等との交流を深め、児童生徒の食生活の改善を図るとともに、学校給食への理解と協力を得ることに努めた。また、栄養士による学校訪問等を行い、授業参加を通じ、給食時間に食に関する指導を積極的に行うとともに食育の推進をさらに充実させた。

(ア) 試食会

保護者及び市民等を対象として、当日の給食を試食してもらい、多摩市の学校給食の現在の状況や食品の安全衛生及び栄養所要量等について説明を行うなど、学校給食に対する理解とPRに努めた。

小学校	18回	延べ	385人
中学校	0回		0人
その他	7回		113人
計	25回		498人

(イ) 施設見学会

学校、保護者及び市民などを対象として、実際の調理作業を見てもらいながら、給食センターの施設概要、調理工程や衛生管理、食品ロス削減等について説明し、安全かつ衛生的な学校給食のPRに努めた。

学校	8回	延べ	517人
中学校	1回		6人
その他	0回		0人
計	9回		523人

(ウ) 食育授業・給食指導（クラス訪問）

学校での学級活動や生活科等における食育の授業において、担任教諭、栄養教諭及び学校給食センター栄養士が連携し、食に関する指導を行い、積極的に食育の推進を図る。また、給食指導（クラス訪問）では、給食時間中に献立を題材にした食に関する指導や食品ロス削減に向けて講話を行った。また、配食・喫食状況の確認、児童からの意見を聴取し、献立作成に役立てた。

食育授業（見学）	13回	7校	延べ授業時間14時間
給食指導（クラス訪問）	36回	18校	延べ282クラス

カ 地場農産物供給実績

年 度	3	4	5	6	7
品目数（品目）	17	16	14	13	10

キ 学校給食における地場農産物供給実績

年度 品名	3	4	5	6	7
長 葱	72 kg 4 回／年	89 kg 6 回／年	35 kg 3 回／年	204kg 9 回／年	
大 根	2,145 kg 31 回／年	1,776 kg 24 回／年	1,336 kg 20 回／年	731kg 10 回／年	920kg 19 回／年
じゃがいも	536kg 8 回／年	371 kg 5 回／年	362 kg 4 回／年	303kg 5 回／年	251kg 4 回／年
玉ねぎ	1,425kg 16 回／年	2,143 kg 27 回／年	1,950 kg 24 回／年	1,416kg 23 回／年	1,178kg 15 回／年
な す	30kg 3 回／年	47 kg 4 回／年	50 kg 5 回／年	15kg 3 回／年	10kg 2 回／年
トマト					
きゅうり	20kg 2 回／年	10 kg 1 回／年	40 kg 5 回／年	16kg 2 回／年	10kg 2 回／年
かぼちゃ	305kg 4 回／年	139 kg 2 回／年	210 kg 4 回／年	240kg 4 回／年	
かぼちゃ (コロッケ)	10,820 個 12 回／年				
ブロッコリー					
カリフラワー					
人 参	66kg 4 回／年	45 kg 2 回／年	67 kg 2 回／年		
小松菜	179kg 16 回／年	69 kg 7 回／年	30 kg 4 回／年	20kg 4 回／年	5kg 1 回／年
ほうれん草	40kg 5 回／年	17 kg 2 回／年	20 kg 2 回／年	5kg 1 回／年	
白 菜	629kg 10 回／年	767 kg 13 回／年	866 kg 13 回／年	323kg 5 回／年	1,043kg 22 回／年
生しいたけ	20kg 4 回／年				
干椎茸	22kg 20 回／年	33 kg 32 回／年	36 kg 28 回／年	24kg 28 回／年	20.1kg 25 回／年
み そ	63kg 4 回／年	116 kg 8 回／年			
ブルーベリー (ジャム)	11,401 個 4 回／年	10,905 個 4 回／年		22,200 個 8 回／年	
ブルーベリー (ゼリー)		10,521 個 4 回／年	10,072 個 4 回／年		11,160 個 4 回／年
甘夏みかん (シャーベット)					
甘夏みかん (ゼリー)	22,168 個 8 回／年				
みかん					
ぶどう		4,948 粒 2 回／年	4,400 粒 2 回／年	5,430 粒 3 回／年	5,800 粒 2 回／年

※かぼちゃは一部コロッケに、ブルーベリーはジャムとゼリーに加工して提供

(14) 教育センター

教育センターでは、主に多摩市立小・中学校に在籍する児童・生徒・その保護者及び教職員を対象に、公認心理師・社会福祉士等が、各種事業を行っている。

ア 教育相談

教育相談では、子供が成長する過程で生じる様々な心理的・発達のな問題を、子ども自身が解決し、乗り越えていけるようになること、また保護者がそれをよりよく支えていけるようになることを目指して取り組んでいる。相談の内容としては、子どもの情緒面での課題や不登校等についての心配、学校での悩みやトラブルに関する事など、広く教育に関するものであった。令和2年9月からは、発達支援室と教育相談室の窓口を発達・教育初回相談窓口一元化し、相談者が速やかに支援を受けられる体制づくりを行っている。

年 度	3	4	5	6	7
項 目					
教育相談（来所）件数	215	273	266	327	340
教育相談（来所）面接・連携回数	2,658	3,005	2,833	2,915	3,149
電話教育相談件数	9	9	12	25	25
スクールソーシャルワーカー相談件数	46	31	36	60	79
スクールソーシャルワーカー面接・連携回数	1,245	957	1,146	1,889	1,901

イ 特別支援教育マネジメントチーム

市内小・中学校の就学相談、転学相談、心理の専門家による巡回相談等、通級入級・特別支援教室利用相談等の業務にあたり、特別支援教育の充実と発展を図るための活動を行った。さらに就学支援委員会での審議対象を転学相談対象者まで拡大して審議を行った。

年 度	3	4	5	6	7
項 目					
就学相談件数	243	255	248	229	235
転学相談件数	66	72	52	43	43
巡回相談件数	50	53	40	41	42
通級入級 相談件数					
特別支援教室	135	111	129	125	145
難聴・言語	15	18	19	17	26

第二次多摩市特別支援教育推進計画に基づく、行政・学校・保護者・関係機関の連携の強化についても各種会議への参加等、連携強化を行った。第二次多摩市特別支援教育推進計画の計画期間が終了することに伴う、第三次多摩市特別支援教育推進計画有識者会議の実施を行い、計画の決定をした。第三次多摩市特別支援教育推進計画の内容周知及び計画の施策の一つである理解啓発の促進を図ることを目的に、特別支援教育推進フォーラム「一人ひとりが“自分らしく成長できる”を支える」を実施した。

ウ 適応教室（ゆうかり教室）、VLP事業、適応指導（日本語指導）

適応教室では、市内の公立小・中学校に在籍し、何らかの理由により学校に登校しない・できない児童・生徒を対象に、様々な個別指導や集団活動を通して、集団生活への適応力を高め、早期の学校復帰に向けた支援を行っている。

VLP事業では、学校に登校しない・できない児童・生徒や日本語指導が必要な児童・生徒に対して、オンライン上の3D仮想空間「VLP（バーチャル・ラーニング・プラットフォーム）」を活用し、従来の対面での支援に加え、オンラインでの学習支援や相談場所・居場所づくりを目指している。オンラインでの学習支援としては学習支援システム「デキタス」を導入し、ゆうかり教室や校内別室などでも利用をすすめている。

適応指導（日本語指導）では、帰国児童・生徒や外国籍などで、日本語の指導が必要な児童・生徒に対して、市立小・中学校へ指導員を派遣し、日本語や生活習慣について指導や支援を行っている。日本語の指導を必要とする児童・生徒の増加傾向が続いており、今後の実施方法等についての検討等が必要な状況である。

年 度		3	4	5	6	7
ゆうかり教室通室者数		49	73	76	46	49
ゆうかり教室週1日以上定期通室者数		-	31	35	30	24
プログラム改善事業 （コアラタイム）	回数	-	33	43	43	39
	参加人数	-	276	303	278	131
ゆうかり保護者交流会参加数		-	-	10	17	6
スポーツの時間参加数		-	-	-	316	261
適応指導（日本語指導）実施人数		19	17	24	27	37
VLP	不登校支援	-	-	28	38	40
	日本語指導	-	-	3	3	8

・適応教室プログラム改善事業（コアラタイム）

令和4年度から開始した、学習指導、生活指導以外の学びのプログラムで児童・生徒の社会的自立を支援するプログラム（事業）である。ボードゲーム、モノづくり、自分たちで企画を考えるなど、子どもたちにとって魅力のあるコンテンツを提供し、意欲を高め自己肯定感を育むこと、また、個別の関わりが多い子どもたちがプログラムの中で自然と他者と関わり、コミュニケーションできる機会をつくることで社会的自立へ向けての支援をしている。

・ゆうかり教室保護者交流会

「コアラタイム」の導入等により、通室する児童・生徒が増加していることを踏まえ、ゆうかり教室で子どもたちがどのように過ごしているのかを知る機会を作ること、また保護者同士の交流・情報交換等ができるようにすることを目的とし、令和5年度から、「ゆうかり保護者交流会」を開催し、保護者同士の交流を図っている。

・ゆうかり教室「スポーツの時間」の取組

令和6年度から、体を動かす集団活動を週に2回実施する取り組みを導入した。家で過ごす時間が多くなりがちな児童・生徒にとって、体を動かす貴重な時間となり、複数の子どもが、積極的に参加し、コミュニケーションが自然に取れるような場となっている。

3 社 会 教 育

(1) 多摩市学びあい育ちあい推進審議会

教育委員会組織が連携し効果的に社会教育行政が推進できるよう、社会教育委員の会議と公民館運営審議会を統合し、図書館協議会や文化財保護審議会の委員等も加え平成24年4月1日に設置した。

本審議会は社会教育の振興及び社会教育と学校教育の連携を図るとともに、生涯学習の理念を踏まえ、教育活動に関わる全ての市民の心身ともに健やかな成長に資する教育行政を推進するため、教育委員会の諮問に応じて調査審議し答申するほか、必要に応じて教育委員会に提言することができるものである。学びあい育ちあい推進審議会委員は、社会教育行政等に市民の意見を反映させるための、地域住民と行政のパイプ役を担っている。

令和7年度学びあい育ちあい推進審議会審議状況等

単位：回

区別 \ 月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
定 例 会	1	1		1			1			1	1		6
東京都市町村社会教育委員 連絡協議会関係 会議・大会等	1			1				1	1		2		6
計	2	1	0	2	0	0	1	1	1	1	3	0	12

令和7年度学びあい育ちあい推進審議会活動内容

会 議 名	年 月 日	内 容
定 例 会	令和7年4月28日	(報告)①第二次多摩市教育振興プラン（改訂版）について ②令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について ③公民館事業進捗状況について ④令和7年度公民館年間事業計画について ⑤令和7年度多摩市立図書館事業計画について ⑥（仮称）第二次多摩市読書活動振興計画（素案）の決定について ⑦特別整理（蔵書点検）の実施及びＩＣタグ関連機器入れ替えに伴う休館について ⑧多摩市社会教育関係団体補助金交付要綱の改正及び令和7年度の申請状況について ⑨令和6年度地域学校協働活動研修等の実施及び令和7年度地域学校協働活動予定について (協議)①令和7年度多摩市文化団体連合への補助金交付について ②令和7年度学びあい育ちあい推進審議会定例会の内容について
定 例 会	令和7年5月19日	(報告)①令和7年度の第4次多摩市生涯学習推進計画の進め方について

会 議 名	年 月 日	内 容
定 例 会	令和7年7月28日	②第4次多摩市生涯学習推進計画の中間見直しについて ③多摩市スポーツ推進計画中間見直し素案の報告について ④公民館事業進捗状況について ⑤ベルブ永山（多摩市専有部）改修について ⑥第16回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》について ⑦「公共施設の使用料の基本方針」の改定に関する報告 (探求)①多摩市における協創について (報告)①第4次多摩市生涯学習推進計画の令和6年度内部評価について ②第4次多摩市生涯学習推進計画中間見直しについて ③公民館事業進捗状況について ④令和6年度公民館事業報告書について ⑤公民館個人利用の試行実施について ⑥日野市・多摩市の「多様な学びの場構築広域連携事業」ひのたまULTRAプロジェクトの進捗について ⑦令和6年度地域学校協働活動の取り組みについて ⑧「国登録有形文化財保存活用計画」策定に向けた進捗状況について ⑨部活動の地域連携・地域移行について (連絡)①公共施設の使用料設定にあたっての基本方針の改定とパブリックコメントの実施について (探求)①学校・家庭・地域の連携・協働について (報告)①第4次多摩市生涯学習推進計画の令和6年度内部評価報告
定 例 会	令和7年10月20日	②第4次多摩市生涯学習推進計画中間見直し素案について ③多摩市立八ヶ岳少年自然の家の食事料金及びアクティビティ料金の改定について ④「国登録有形文化財（建造物）川井家住宅主屋及び旧川井家住宅土蔵保存活用計画」策定の進捗状況について ⑤重要無形文化財の保持者の追加認定について ⑥公民館事業進捗状況について ⑦令和6年度多摩市立図書館事業評価について ⑧第二次多摩市読書活動振興計画について (報告)①令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3ブロック研修会及び交流大会・社会教育委員研修会について ②公民館事業進捗状況について (連絡)①学びあい育ちあい推進審議会委員の視察について (探求)①地域学校協働活動の取り組みについて
定 例 会	令和8年1月19日	(報告)①令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3ブロック研修会及び交流大会・社会教育委員研修会について ②公民館事業進捗状況について (連絡)①学びあい育ちあい推進審議会委員の視察について (探求)①地域学校協働活動の取り組みについて
定 例 会	令和8年2月18日	(報告)①第4次多摩市生涯学習推進計画中間見直し原案について ②「国登録有形文化財（建造物）川井家住宅主屋及び旧川井家住宅土蔵保存活用計画」について ③展覧会「重要無形文化財『木工芸』保持者 渡辺晃男の仕事」の開催について ④公民館事業進捗状況について ⑤令和7年度公民館等利用者懇談会の開催報告について (連絡)①第17回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》の開催について

令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会関係

研 修 名	年 月 日	内 容
定 期 総 会 社会教育委員 研 修 会	令和7年4月19日	【社会教育委員研修会】 演 題：「ジュニア・サイエンスカフェ活動の立ち上げin町田 ーある技術者の定年後の軌跡ー」 講 師：鶴川サイエンスラボ 池田裕幸 氏 (一社)町田市地域活動サポートオフィス 喜田亮子 氏
理 事 会	令和7年7月15日	(報告事項) 令和7年度役員・理事名簿および輪番表他について 他4件 (協議事項) 令和7年度都市社連協ブロック研修会について 他2件
第3ブロック 研 修 会	令和7年11月14日	統一テーマ：「つながり、関わり合い、ともに創造する地域の未来」 ～身近な課題を自分ごととして考えよう～ 研修テーマ：つながり、関わり、共創する地域の新しい風 ー現代課題への対応と未来志向のためにー 第1部 基調講演 演題：アンガーマネジメントについて 講師：玉川大学教師教育リサーチセンター教職サポートルーム客員教授 仙北屋 正樹 氏 第2部 町田市民文学館の取組について（展覧会観覧・講演）
交 流 大 会 社会教育委員 研 修 会	令和7年12月13日	第1部 交流大会 ・式典 第2部 ・各ブロック研修会実施報告 第3部 社会教育委員研修会 演題：関わり合いの中から生まれる地域の未来ー地域社会教育実践の経験を踏まえてー 内容：事例紹介及びパネルディスカッション
視 察	令和8年2月5日	目的：芸術文化ホール・図書館・生涯学習センター・屋内こども 広場などが融合した新しいタイプの複合施設を視察する ことにより、他市の先進的な取組みについて研修する。 視察先：大和市文化創造拠点シリウス（神奈川県大和市大和南 1-8-1）
理 事 会	令和8年2月17日	(報告事項) 令和7年度（一社）全国社会教育委員連合第2回総会について 他2件 (協議事項) 令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会表彰について 他2件

(2) 家庭教育支援事業

核家族化や少子化が進む中、保護者等は様々な子育ての課題に直面している。このような保護者等の悩みに寄り添い不安の解消を図るため、乳幼児期や小中学生の子どもを持つ保護者等を対象として、以下の事業を実施した。

ア 家庭教育学級の実施

子育てなど、家庭教育に関する学習の場の設定及び情報の提供を行い、家庭の教育力の向上を図ることを目的とした「家庭教育学級」事業を実施した。

年度ごとに、小学校・中学校・幼稚園・保育園の中から開催を希望する学校、園でPTAや保護者会を含む実行委員会を組織し、家庭教育に関する学習会を開催している。（令和7年度は4校で実施）

イ 家庭教育講座の実施

子育て期の保護者が気軽に参加しやすい講座として、公民館や児童館を会場に「家庭教育講座」を実施した。講座への参加を通じて、家庭教育に関する学習機会の提供や参加者同士の交流、地域施設とのつながりができるような場となるとともに、家庭教育について新たな気付きを持ってもらうことを目的として実施した。（令和7年度は5施設5講座実施）

(3) 社会教育団体への支援

社会教育団体（成人教育に関する団体で構成される連合体）である、多摩市公立小・中学校PTAそれぞれの連合体に対し、定例会や市長・教育長懇談会などの会議運営の支援を行っている（補助金については、いずれの連合体も令和5年度以降は交付なし）。また、各学校単位で組織しているPTA及びPTAと同様の活動をしている団体の見直しが進んでいることから、それぞれの連合体でも負担軽減のため、活動内容の見直しを行っている。

ア 多摩市立小学校PTA連絡協議会（小P連）

市内には17校の小学校があり、各校のPTA及びPTAと同様の活動をしている団体（父母会・世話人会）は、組織形態にこだわらず小P連に参加することができ、令和7年度は12団体（うち休会5団体）が加盟している。これらの団体同士が連絡を取り合い、「子どもたちの安心・安全な居場所づくり」をテーマに市長・教育長懇談会の開催や「小P連ホームページ」等を通じて、各校PTA組織の活動の活性化や家庭の教育力の向上に貢献している。

イ 多摩市立中学校 P T A 連 合 会（中 P 連）

市内には9校の中学校があり、各校の P T A 及び P T A と同様の活動をしている団体で構成されており、令和7年度は全9団体（うち休会1団体）が加盟している。コロナ禍で中止としていた高校説明会については形式を変更して再開、定例の運営委員会において各 P T A 間の情報交換等を行うほか、学校環境、部活動をテーマに市長・教育長懇談会の開催やインスタグラム等を通じて活動内容の情報発信を行った。

(4) 地域学校協働活動

地域教育力の低下が指摘され、子どもを取り巻く状況が様々に変化する中で、平成20年度から地域教育力支援コーディネーターを配置し、学校支援の手法や課題等の分析、支援策の試行実施及び成果の検証を経て、平成23年度から教育連携支援事業を開始した。

平成30年度に市内公立小・中学校全校で教育連携支援事業を展開したことを受けて、令和元年度から学校・家庭・地域の連携・協働を推進するため、段階的に地域学校協働活動への移行を開始し、令和3年度に市内公立小・中学校全校の移行が完了した。

また、地域の団体等と連携し、子どもたちの学びの提供を行っている。

ア 協働活動推進の担い手

(ア) 地域教育力支援コーディネーター

市内小・中学校に配置している地域学校協働活動推進員を統括するとともに、学校の課題や要望に対して、地域の人材や N P O、大学、企業等と連携を図りながら支援するために、教育委員会に配置している専門スタッフ

(イ) 地域学校協働活動推進員

学校・家庭・地域が連携・協働し、地域の特色を生かして、子どもの成長を育む体制を整えることを目的に活動し、学校と地域学校協働活動ボランティアとの間に立ち、相互の適切な連携関係を作り、総合的な連絡・調整を行う役割を担う人材

イ 地域の力を生かした学習支援の推進

各学校に地域学校協働活動推進員を配置し、保護者、地域住民や大学生等による学習の補助、基礎学力の定着及び学習習慣の確立に向けた授業時間以外での補習（地域未来塾）、様々な体験活動の機会の提供等に取り組んだ。

○対象学校数：26校

○地域学校協働本部設置数：23か所

○参加ボランティア人数：6,291人（延べ）

(5) 子ども体験事業

子どもたちが豊かな自然に親しみ、自主的・自発的に遊ぶことのできる場を提供することにより、遊びを通して、心身や情緒を成長・発達させ、また社会性を身につけることを目的として、主旨に賛同する市内大学との市民協働委託により大谷戸プレーパークTAMAを実施した。

また、野外活動の必要性、自然体験活動、子どもとの関わり方など技術を学び、子どもたちのさまざまな体験活動をサポートする自然体験活動指導者養成講座を年間通して開催し、4人の参加があった。

○実施期間：令和7年4月～令和8年3月の毎月1回土曜日に実施

○実施日数：11日

○参加人数：1,015人（年間）

大谷戸プレーパークTAMA



(6) 学校開放

多摩市における社会教育の振興を図るため、学校教育に支障のない範囲内で、社会教育活動を行っている団体に昭和50年12月から市立小・中学校全校の学校開放を実施している。

また、社会教育活動をさらに充実させるために、市立中学校全校に設置したクラブハウスを軽スポーツ等の活動を中心に市民の利用に供している。

学校開放事業は、平成26年4月1日から有料化した。使用料は、1時間あたり校庭300円、体育館400円、クラブハウス・特別教室200円、テニスコート300円、校庭夜間照明設備900円（別に校庭使用料300円が加算）、陶芸窯は1回あたり1,000円としている。使用料の徴収は、団体が事前に使用券を購入し、使用後に使用終了報告書に貼付する方式で徴収している。

ア 開放施設及び開放時間

開放施設 開放日	開 放 時 間				
	校庭 テニスコート(全中学校)	体育館 教室 多目的ホール	夜間照明設備 (3 中学校)	クラブハウス (全中学校)	陶芸窯
土 曜 日 日 曜 日 国民の祝日 長期休業日	夏期(4月～9月) 8:30～18:00 冬期(10月～3月) 8:30～17:00	8:30～21:30	日没～21:30	8:30～21:30	8:30～21:30
平 日	夏期(4月～9月) 下校時刻～18:00 冬期(10月～3月) 下校時刻～17:00	下校時刻～21:30	下校時刻～21:30		

※ ただし、学校教育に支障のない範囲とする。

※ 学校開放の期間は、1月4日から12月28日までとする。

イ 開放施設の使用対象団体

原則として、多摩市に在住、在勤又は在学するものが半数以上を占める10人以上からなる団体で、当該団体の責任者として成人が含まれていること。（多摩市に在住、在勤又は在学する者が半数未満の場合は、市外団体とする。）

ウ クラブハウス

中学校全校に設置している施設で、主に軽スポーツ等に使用でき、社会教育施設として地域での活動の場となっている。

エ 校庭夜間照明設備

和田中学校、多摩永山中学校、鶴牧中学校の校庭に設置しており、スポーツ・レクリエーション活動の振興を図っている。主に野球、ソフトボール、サッカー等に使用できる。（ただし、天候及びグラウンドコンディションの悪い場合を除く。）

オ 開放状況（令和7年度開放施設）

小学校	17校（全校）	・ クラブハウス	9校（中学校全校）
中学校	9校（全校）	・ 夜間照明	3校（和田中・多摩永山中・鶴牧中）

カ 使用団体

スポーツ団体	野球・ソフトボール・サッカー・テニス・バレーボール・バスケットボール・バドミントン・剣道・空手・卓球・社交ダンス・体操など
その他	子ども会・青少年問題協議会地区委員会・音楽活動（器楽演奏、合唱他）・保育園行事など

※この外、自治会等を単位とした団体が、主にスポーツ・レクリエーション活動に利用している

夜間照明設備付き校庭を使用したサッカー練習



学校校舎大規模改修にあわせて改修された和田中学校クラブハウス



(7) 文化財保護審議会

多摩市文化財保護審議会は、教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議し、これらの事項について教育委員会に建議するために設置された。審議会委員の任期は2年、令和7年度の委員総数は9人（定数10人）である。

令和7年度開催状況

回	開催日	内 容
1	令和7年4月25日	(1) 現地視察 国登録有形文化財「旧川井家住宅主屋・土蔵」 (2) 協議 ① 「国登録有形文化財保存活用計画」の策定状況について ② 文化財施設における撮影基準について (3) 報告 ① 令和7年度多摩市文化財保護審議会の協議予定等について ② 令和7年度文化財保護事業について ③ 国登録有形文化財（建造物）の登録について (4) その他
2	令和7年7月22日 （書面会議）	(1) 協議 ① 「国登録有形文化財（建造物）川井家住宅主屋及び旧川井家住宅土蔵保存活用計画（素案）」について (2) その他
3	令和7年10月27日	(1) 協議 ① 「国登録有形文化財（建造物）川井家住宅主屋及び旧川井家住宅土蔵保存活用計画」策定の進捗状況及びサウンディング調査の実施状況について ② 文化財指定に向けた進め方について (2) 報告 ① 重要無形文化財の保持者の追加認定について ② 文化財記録映像の公開について ③ 指定天然記念物の保存処置について ④ 東京文化財ウィーク 2025 特別公開の実施について ⑤ 旧多摩聖蹟記念館事業について ⑥ 多摩ふるさと資料館事業について (3) その他

回	開催日	内 容
4	令和8年2月5日	(1) 協議 ① 「国登録有形文化財（建造物）川井家住宅主屋及び旧川井家住宅土蔵保存活用計画」について ② 文化財指定に向けた進め方について (2) 報告 ① 重要無形文化財保持者認定記念事業について ② 指定天然記念物の保存処置について ③ 旧多摩聖蹟記念館事業について ④ 多摩ふるさと資料館事業について (3) その他

(8) 文化財保護事業

市内文化財の適切な保護・保存に取り組むとともに、文化財の活用のために必要な措置を講じ、郷土の文化に対する市民の理解促進に努め、後世に継承するため、次の事業を実施した。

ア 文化財映画の貸出及び撮影記録映像ダイジェスト版の公開

多摩ニュータウンの開発や都市化の流れにより、変貌し消えつつある多摩市の原風景や暮らしを映像にとどめ、後世に伝えるため、昭和54年から撮影を始め、昭和59年度から平成9年度にかけて10本の文化財映画を製作した。文化財映画は無料で貸出を行っている。

また、多摩市で40年以上継続されてきた文化財等の撮影記録映像を後世に継承するために、令和7年度に多摩市デジタルアーカイブで文化財記録映像のダイジェスト版12本を公開した。

イ 文化財資料の貸出、小・中学校見学対応

学校教育との連携を図り、社会科カリキュラム、総合的な学習等に合わせた文化財資料（考古、歴史、民俗・生活資料）の貸出等を実施した。

また、文化財施設（多摩ふるさと資料館、旧加藤家・旧有山家、旧富澤家、旧多摩聖蹟記念館）において小・中学校の見学対応を19件実施した。

ウ 指定天然記念物の保存処置

近年、東京地方でシイ類、カシ類及びコナラ等を加害する“カシノナガキクイムシ”の食害により枯死する樹木（ナラ枯れ）が多くなっていることから、都指定天然記念物「平久保のシイ」に対して、被害防止対策として防虫ネットの設置を実施した。また、危険防止のために枯れ枝剪定と支柱の補修作業を実施した。

また、市指定天然記念物「シダレザクラ」（鶴牧西公園内）は、樹木医による成育環境の確認及び樹勢回復のための調査、枯れ枝の処置及び樹勢の維持のために施肥（土壌改良）を実施した。

エ 展示・普及事業

(7) 「東京文化財ウィーク2025」事業

地域における文化財保護事業の理解推進、地域との連携、文化財の活用等を図るため、東京都全域で行われた「東京文化財ウィーク2025」事業（東京都教育委員会主催）の一環として、企画事業3件、公開事業4件を実施した。

	No.	事業名・展示会名・〔場所〕	期 間	来場者数
企 画 事 業	1	旧多摩聖蹟記念館秋季企画展「戦前の多摩村と皇室－旧多摩聖蹟記念館に残る皇室の肖像とゆかりの品」〔旧多摩聖蹟記念館〕	令和7年10月16日 ～12月14日	2,398人
	2	多摩ふるさと資料館特別展「戦前の多摩村と皇室－天皇を迎えた多摩の人々」〔多摩ふるさと資料館〕	令和7年10月18日 ～12月7日	— ※1
	3	特別公開「都指定有形文化財（彫刻）木造隨身倚像」〔小野神社〕	令和7年11月9日	74人

※1 自由入場としていることから来館者（入場者）数のカウントはしていない

	No.	公開文化財名・〔公開場所〕	期 間	来場者数
公 開 事 業	1	都指定史跡・稲荷塚古墳 〔稲荷塚古墳〕	令和7年10月25日 ～11月3日	42人
	2	都指定史跡・霞ノ関南木戸柵跡 〔熊野神社〕	令和7年10月25日 ～11月3日	21人
	3	都指定天然記念物・平久保のシイ 〔平久保公園〕	令和7年10月25日 ～11月3日	14人
	4	特別公開「旧辻陶房主屋兼作業場及び旧辻陶房登り窯」 〔旧辻陶房主屋兼作業場・登り窯〕	令和7年10月29日 ・11月3日	39人

(イ) 東京都埋蔵文化財センター共催事業

多摩の歴史や文化財等を学ぶ一端とするイベントを東京都埋蔵文化財センターと共催で実施した。

事業名・〔場所〕	開催日	参加者数
文化財ウォーク「多摩の文化財めぐり」 〔東京都立埋蔵文化財調査センター他〕	令和8年2月28日	17人

(9) 埋蔵文化財発掘調査事業

多摩市内には、土木工事等の開発事業を行う際に届出が必要となる「周知の埋蔵文化財包蔵地」が297か所、設定されている。令和7年度は開発行為等に伴う埋蔵文化財の発掘届（通知）が146件提出された。その中で、宅地造成や地盤改良工事等の地下に大きな影響を及ぼす住宅工事等に対する試掘確認調査を10件、市役所新庁舎建替え事業に伴う試掘確認調査1件の計11件実施した。本発掘調査の実施はなかった。

令和7年度埋蔵文化財調査実施状況

No.	種別	遺跡名	工事内容	所在地 (多摩市)
1	試掘調査	落川・一の宮遺跡	個人住宅	一ノ宮一丁目
2	試掘調査	東寺方遺跡	店舗	東寺方
3	試掘調査	落川南遺跡	宅地造成	落川
4	試掘調査	落川・一の宮遺跡	集合住宅	一ノ宮二丁目
5	試掘調査	貝取遺跡	個人住宅	貝取
6	試掘調査	霞ノ関跡	宅地造成	関戸五丁目
7	試掘調査	東寺方遺跡	工場兼店舗	東寺方
8	試掘調査	向ノ岡遺跡	分譲住宅	連光寺一丁目
9	試掘調査	落川・一の宮遺跡	宅地造成	一ノ宮四丁目
10	試掘調査	多摩市No.218 遺跡	宅地造成	和田
11	試掘調査	多摩市No.143 遺跡、多摩市No.228 遺跡、多摩市No.229 遺跡	市役所新庁舎建替え	関戸六丁目

(10) 古民家（旧有山家住宅・旧加藤家住宅・旧富澤家住宅）管理運営事業

一本杉公園内にある旧有山家は、市指定有形文化財として保護・保存を図るとともに、展示施設として公開している。また、旧加藤家は、展示施設及び古民家の特色を生かした古民家体験学習、茶会、句会等の活動の場として利用登録団体に開放している。

多摩中央公園内にある旧富澤家は、文化財として保存・公開するとともに、学習、語らいの場等として、施設の一部を除き団体に開放している（令和6年度は休館）。

令和7年4月から指定管理制度を導入し、TAMAセントラルパークJ Vが管理運営を行っている。

多摩中央公園内の旧富澤家



ア 展示事業（旧富澤家）

No.	期 間	事 業 名	来館者数
1	令和7年4月19日 ～ 5月14日	多摩市立多摩中央公園オープニング記念 旧富澤家特別展示「旧富澤家とゆかりの 品々」	7,269 人
2	令和7年10月29日 ～ 11月19日	旧富澤家秋季襖絵展	2,721 人

イ その他事業

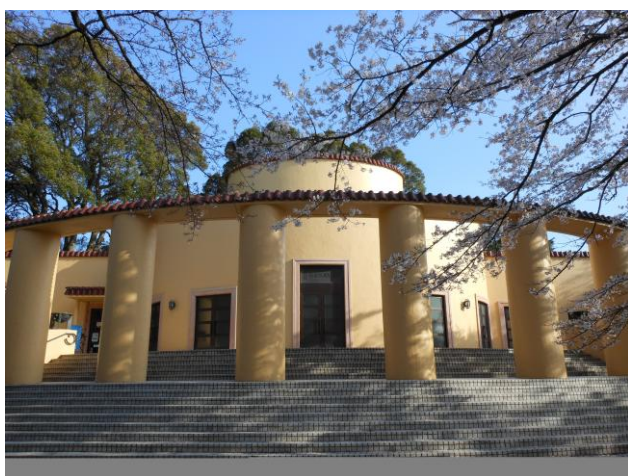
一本杉公園内の炭焼き窯を市民団体に貸出した。

No.	実 施 期 間
1	令和7年11月2日 ～ 12月7日
2	令和8年1月18日 ～ 2月22日
3	令和8年3月8日 ～ 4月12日

(11) 旧多摩聖蹟記念館管理運営事業

都立桜ヶ丘公園内にある旧多摩聖蹟記念館は、市指定文化財として保護・保存し、展示・見学施設、貸ギャラリーとして活用するとともに企画展の開催、記念館広報誌の発行、多摩市植物友の会との共催による自然観察会等を実施している。同館は市指定有形文化財であるとともに、東京都の「特に景観上重要な歴史的建造物等」に選定され、令和4年6月には一般社団法人 DOCOMOMO J a p a n（ドコモモ・ジャパン）による「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」に選定された。

都立桜ヶ丘公園内の旧多摩聖蹟記念館



ア 展示等事業

同館の収蔵物である幕末、明治に活躍した人々の書画等の展示や共催事業を実施した。

No.	期 間	事 業 名	来館者数
1	令和7年3月13日 ～ 5月25日	春季企画展「連光寺の桜と旧多摩聖蹟記念館」	3,028人 ※2
2	令和7年6月19日 ～ 9月28日	夏季企画展・パルテノン多摩地域連携展示 「開館95年 記念館のみた風景」	1,265人
3	令和7年10月16日 ～ 12月14日	旧多摩聖蹟記念館秋季企画展「戦前の多摩村と皇室－旧多摩聖蹟記念館に残る皇室の肖像とゆかりの品」	2,398人
4	令和8年1月8日 ～ 3月1日	冬季企画公募展「聖蹟 KAKIZOME 書道展'26」	1,710人
5	令和8年3月19日 ～ 6月21日	春季企画展「渡辺長男 失われた銅像」	1,091人 ※3

※2 来館者数は令和7年4月1日～5月25日の人数

※3 来館者数は令和8年3月19日～3月31日の人数

イ その他事業

事業名	内容	参加者数
自然観察会 (5回)	「多摩市植物友の会」との共催事業 毎年7月・8月・9月・1月を除く毎月第1火曜日開催 (雨天時は中止)	266人
植物写真展示	「多摩市植物友の会」の協力による植物写真展示(毎月)	—
子ども昆虫観察会 (2回)	環境政策課と共催(令和7年6月14日・11月2日開催)	19人
音楽の集い	都立桜ヶ丘公園と共催「音楽の集い～歴史・自然とかな でるハーモニー」(令和7年11月1日開催)	95人
広報誌「雑木林」 発行	偶数月に実施事業や収蔵資料紹介、自然観察会の記録等 を掲載する広報誌を発行(vol. 225～230/各1,300部)	—



旧多摩聖蹟記念館内部

(12) 多摩ふるさと資料館管理運営事業

多摩ふるさと資料館は、文化財を保管するとともに、収蔵展示及び文化財を利用した体験学習、情報発信等を行うことにより、郷土の文化に対する市民の理解促進を図り、後世に継承することを目的に、令和4年4月1日に開館した。資料館には文化財資料の展示を行う「展示室」5室と、市内小・中学生を中心とした社会科見学のオリエンテーション等を行う多目的室、文化財資料の収蔵室がある。

ア 実施事業

No.	期 間	事 業 名	開催場所	来場者数
1	令和7年7月3日 ～10月8日	多摩ふるさと資料館＋パルテノン多摩（市民学芸員）連携パネル展示 「絵図のなかにわたしたちの街の江戸時代を 探すー多摩市の丘陵どまんなか編ー」	多目的室	— ※4
2	令和7年7月16日 ～令和8年4月1日	多摩の思い出写真展～昭和から平成の銭湯・立花浴泉～	展示室1	— ※4
3	令和7年7月26日	夏休みイベント「めかいを作ってみよう！」	多目的室	12人
4	令和7年10月18日 ～12月7日	特別展「戦前の多摩村と皇室ー天皇を迎えた 多摩の人々ー」	多目的室	— ※4
5	令和8年3月8日	キタカイ防災フェスタ2026 展示室5	展示室5	293人

※4 自由入場としていることから来場者数のカウントはしていない

多摩ふるさと資料館 展示室の状況



展示室 1

「導入 — 多摩ふるさと資料館へようこそ！」



展示室 2

「埋蔵文化財 — 縄文時代から古代までを中心に歴史を知る」



展示室 3

「暮らし — むかしの暮らしを見る、学ぶ」



展示室 4

「生業（なりわい） — むかしの仕事を学ぶ」



展示室 5

「働く車 — 運搬中心の大型民具を見る、学ぶ」

(13) 公民館開催事業 [永 : 永山公民館 / 関 : 関戸公民館]

ア 地域・生活課題を考える事業

事業名		内 容	実施 時期	回数	会場	延参加者
1	市民企画講座	市民団体から地域、生活課題等の企画を募集し自主的な学習活動の促進を図り、広く学習の機会を提供する	8～3月	23	永 集会室 他	523
2	地域生活講座	地域・生活の課題を解決するため、地域施設、関係機関と公民館とが協力し、地域に横たわる課題を見出し、共有し、住民とともに考えていく。	3/17	1	聖蹟桜ヶ丘・一ノ宮周辺 ・ 関 創作室	57



永山公民館と永山図書館がある
ベルブ永山

イ 学校・家庭教育支援事業

事業名		内 容	実施 時期	回数	会場	延参加者
3	子育て支援講座	子育ての不安、悩みを参加者同士が共有し学習することを通して、ネットワークを作る機会とする ※子育て応援コンサートを含む	①10/18 ②11/29 ③2/18	3	② 関 大会議室 ① 永 視聴覚室 ③ ベルブ ホール	170
4	保育室開放デー (永山公民館)	保育室を開放して、ゆったりと過ごせる場の提供や、乳幼児とその親同士の交流とともに子育てに関する情報も広く発信していく (ミニイベント含む)	毎月 第3 月曜日	12	永 保育室	大人 63 子ども 67
5	保育室開放デー (関戸公民館)	保育室の親・乳幼児の自由な利用により、家族間の交流や子育ての側面的援助をはかる	毎月 第1・3 水曜日	28	関 保育室	大人 145 子ども148
6	子育てつどいの 広場事業	コーディネーターが常駐し、安心して集い交流できる場を作るとともに、市内団体や保育園などとも連携し、地域の子育て環境の充実を図る	毎月 第2・4 木曜日	24	永 保育室	大人 326 子ども 335
7	小学生等体験講座	学校や地域では体験しにくい専門性の高い講座や、物づくりなど地域の人材と関わり親子で参加体験する講座等を開催し、世代を超え視野を広めるきっかけをつくる ①夏休み小学生体験講座 ②春休み小学生体験講座	① 8月 ② 3月	①6 ②1	永 ベルブ ホール ・ 関 ヴァイタ ホール 他	① 199 ② 18

事業名		内 容	実施 時期	回数	会場	延参加者
8	学校や地域と連携した事業	子どもたち自身が体験で学ぶ講座など、学校や地域と連携して地域全体で子ども達を育む意識の普及に取り組む（市内高校協力）	4～12月	1	永 ・ 関 公民館内	8
9	家庭教育学級・家庭教育講座	子どもたちの豊かな心を育成していくために保護者に対して生活習慣の重要性や子育てに関する知識を学ぶ機会を作り、家庭の教育力向上を目指す ①家庭教育学級 ②家庭教育講座 ③薬物乱用防止講座	7～3月	10	「市内」 小中学校 他	563
10	職場体験等の受入れ	市内中学生の職場体験や事業へのボランティアの受入れをし、人と接すること、働くことなどを学ぶ ※調べ学習	9～1月	4	永 ・ 関 公民館内	8

ウ 市民・時事問題講座事業

事業名		内 容	実施 時期	回数	会場	延参加者
11	障がい者青年教室	心身に障がいを持つ青年を対象に、余暇の仲間づくりや社会参加への一歩を踏み出すきっかけをつくる（美術展含む）	5～3月 (8・1・2月を除く)	8	永 集会室 ベルブ ホール 他	198
12	市民講座	市民生活に身近なテーマを取り上げ学習を継続し知識を楽しく深め合うことで、地域での豊かな生活に結びつける（音楽講座・グリーフケア・スマホ関係事業）	4～3月	22	関 大会議室 他 ・ 永 音楽室 他	460
13	地球大学院	環境、貧困、生物多様性など国際的な課題から、地域社会で生起している現象などを市内の6大学との連携で開催し、社会とどう関わるかを考える契機とする	10月 ～11月	6	関 大会議室 ・ 永 視聴覚室	84
14	郷土・伝承文化講座	伝統・伝承文化に親しみ、参加者間の交流も促進する。 ①はじめての茶の湯 ②地域の自然を知ろうー冬の多摩川で野鳥観察	①② 2月	①2 ②1	関 ①茶室 和室 ②一ノ宮公園 他	①12 ②18
15	時代をつなぐ記録づくりプロジェクト ～「聞き書き」でつなぐ「戦争体験」～	戦後80年の節目に、「聞き書き」という手法で多摩に在住する方の戦争体験を聞き書きし、記録に残して次代につなげるきっかけとして実施	9月～1月	5	永 集会室 他	37

エ 地域活性化事業

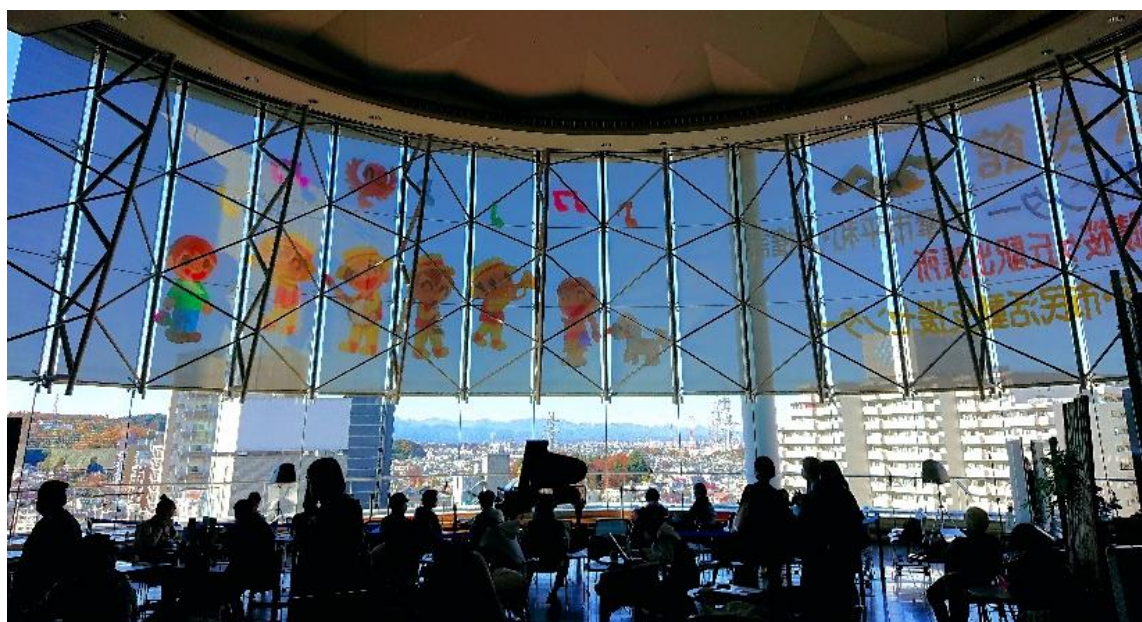
事業名		内容	実施時期	回数	会場	延参加者
16	永山フェスティバル	実行委員会がグリナード永山等と一体になって開催する	9月	2日間	永 ベルブ ホール 他	51,081
17	地域イベント協力事業	聖蹟桜ヶ丘地区で行われるせいせき桜まつりやせいせき朝顔市に合わせ、地域活性化に資する事業を企画実施する	4・7月	2	関 ヴィータ ホール 市民ロビー 他	541
18	VITAふれあいまつり	地域で活動している団体間及び市民との交流を図るとともに、公民館の活動を知り、新たな地域活動へのきっかけを創りだしていく	2月	1	関 TAMA 女性センター 他	1,887
19	関戸公民館施設等活用事業	市民・団体等と催事を行い、聖蹟桜ヶ丘の賑わいつくりや公民館の周知を図る。令和7年度は関係課・団体への協力事業、公民館主催事業を実施	随時	15	関 市民ロビー、 ギャラリー	1,510
20	昭和100年公民館事業	昭和100年という節目を契機として、レコードを活用した公民館事業を実施。 ①JAZZレコードを公民館ホールで聴く～ジャズ喫茶VITAへようこそ ②昭和歌謡を公民館ホールで聴く～昭和思い出のレコード鑑賞サロン～	①1/12 ②1/30, 2/26, 3/20	①1 ②3	関 ①ヴィータ ホール 永 ②ベルブ ホール	①100 ②120
21	お正月デジログ運動会	それぞれの世代がなじみやすい「あそび」を組み合わせ、参加者間の交流・つながりをつくり、コミュニティの形成を促す	1/6	1	からきだ 菖蒲館	29

オ 市民文化活動支援事業

事業名		内 容	実施 時期	回数	会場	延参加者
22	サロンライト コンサート	さまざまな分野の音楽を身近な場 所で気軽に楽しめるコンサート	5～3 月	10	永 ベルブ ホール	1,185
23	TAMAシネマ フォーラム	TAMA映画フォーラム実行委員 会が行う映画祭の支援	11 月	9 日間	パレテノン 多摩 他	12,492
		TAMA映画フォーラム実行委員 会が行う随時上映支援	2～8 月	6	永 ベルブ ホール	1,370
24	多摩演劇フェス ティバル	アマチュアの劇団が実行委員会形 式で演劇公演を実施	4～3 月	8劇団	関 ヴィータ ホール 他	1,829
25	ヴィータ・コン サート	市民の実行委員会と共催で実施す る、身近な場所で音楽に親しんで いただけるコンサート	4～3 月	6	関 ヴィータ ホール	849
26	W h a t ' s J A Z Z	市民の実行委員会と共催で実施す る、ジャズコンサートの開催	6～3 月	4	関 ヴィータ ホール	912

カ 情報発信事業

事業名		内容	実施時期	回数
27	公民館通信 「たのしいまち」 の発行	市民ボランティアによる公民館の 行事や各種情報のお知らせ版発行	随時	6
28	ホームページで の情報提供	事業案内、募集などの情報提供	随時	随時
29	サークル紹介 カード	公民館施設利用団体で希望する団 体の情報提供を館内に掲示	毎年 8月更新	随時



ヴィータ・コムーネ7階の
市民ロビー

キ その他連携等事業

事業名		内 容	実施 時期	回数	会場	延参加者
30	ひのたまULTLA プログラム (日野市・多摩市 の「多様な学びの 場構築連携事業」)	「多摩・島しょ広域連携活動助成事業」を受け、学校生活になじめない子どもたちや居場所を見つけられない大人たちなど様々な世代が交流しながら自分自身を掴み、その能力を発揮できる学びの場づくりにより市民暮らしを豊かにする事業を実施する。	11～2月	4	多摩市・ 日野市	33
31	スマホ相談会 (東京都)	東京都デジタル局との連携により、高齢者のスマートフォンの相談に応じる機会を設ける 高齢支援課と共催で体験会も実施した	7～3月	10	関 創作室 ・ 永 ギャラリー	158
32	都民寄席 (東京都)	東京都との連携により都民寄席を実施し、市民及び近隣の都民の文化イベントを実施	2月	1	関 ヴィータ ホール	162
33	ふれあいこども まつり (東京都)	東京都・東京都歴史文化財団等との共催による子ども向け文化・芸術事業(一部ラスカル映画祭とコラボ)	3月	2日間	関 ヴィータ ホール 他	1,345
34	こどものまちたま (市民団体共催)	仮想のまちを子どもたちだけで運営することを通して、内発的な学びの場を提供する	3月	5日間	関 ヴィータ ホール	266
35	テレビ朝日出前 講座	社会教育や生涯学習の支援及び企業の社会貢献活動としてテレビ朝日が実施している出前講座を活用。成人向けに「防災講座」を実施	7月	1	関 大会議室	16

事業名		内 容	実施 時期	回数	会場	延参加者
36	事業者提案型 講座	地域・社会、日常生活における課題 や文化や時事的テーマなどについて、民間企業が持つ専門的な知識や ノウハウを市民へ提供してもらう ことで市民の学びを豊かにする	10月～ 3月	15	永 視聴覚室 ・ 関 大会議室 他	161
37	わがまち学習講座	地域活動の担い手となりうる次世 代層をターゲットに展開する講座 を、文化・生涯学習推進課、協創推 進室と3課連携で実施	1月～3 月	3	関 大会議室 他	21
38	わがまち学習講座 連携企画	わがまち学習講座連携企画とし て、人生100年時代において、ど の年代にも日々を充実させる“自 分の活かし方”について学ぶきっ かけとなる講演会を実施	1/17	1	パルテノン 多摩	30
39	中学校吹奏楽部 支援事業	部活動の地域連携・地域移行など の課題に対し、吹奏楽部の活動支 援として試行的に実施。公民館事 業に関わりのあるプロミュージシ ャンによるクリニックを実施。	9月～ 3月	3	関 ヴィータ ホール	23
40	とうきょうこども クリエイティブ ラボ (東京都)	今後のデジタル社会を担っていく 小中学生が、誰でも気軽に、創造性 を育むことができる「デジタル創 作体験」の機会を広げる事業を東 京都と共催で実施	12月・ 1月	2	関 創作室	65

(14) 図 書 館

ア 図書館の概要

多摩市立図書館は、昭和48年の開館以来、赤ちゃんからお年寄りまでのだれもが、気軽に読みたい本や必要とする資料を借りられる図書館をめざして、図書館網の整備と内容の充実に努めてきた。現在は、7つの図書館と1分室のネットワークによりサービスを提供している。

令和2年度に、「多摩市電子図書館」、「多摩市デジタルアーカイブ」を開始した。

中央図書館開館準備のため、令和5年5月7日をもって多摩市立図書館（本館）が閉館、7月1日に多摩市立中央図書館が開館した。中央図書館は、関戸図書館、永山図書館と同様にセルフ貸出機等関連機器を導入し、祝日開館を行うとともに開館時間を夜8時までとした。

令和7年3月末で「多摩市読書活動振興計画」、「第三次多摩市子どもの読書活動推進計画」が終了し、令和7年9月に2つの計画を統合した「第二次多摩市読書活動振興計画」を策定し、子どもから大人まで継続した読書活動の振興に向け各施策を推進している。

イ 多摩市図書館協議会

図書館協議会は、図書館法の規定により図書館の運営に関し図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕について館長に意見を述べる機関で、委員は学校教育及び社会教育関係者、学識経験者等から組織されている。定数は7人以内で、任期は2年となっている。

令和7年度は、委員7人で図書館の課題について協議した。

ウ 図書館の開館日等

名 称	開 館 時 間	休 館 日
多摩市立中央図書館	午前9時30分～午後8時	第1・3木曜日※国民の祝日・休日は開館
東 寺 方 図 書 館	午前10時～午後5時	木曜日 国民の祝日・休日
豊 ヶ 丘 図 書 館		
聖 ヶ 丘 図 書 館		
関 戸 図 書 館	午前9時30分～午後7時30分（平日） 午前9時30分～午後5時（土曜日曜祝休日）	木曜日※国民の祝日・休日は開館
永 山 図 書 館		
唐 木 田 図 書 館	午前10時～午後5時	月曜日 国民の祝日・休日
行 政 資 料 室	午前8時30分～午後5時	土曜日・日曜日 国民の祝日・休日

※休館日は、このほかに年末年始・特別整理日の休館がある

エ 蔵書

市民の学習・余暇・調査研究など、多様な要求に応えるため、幅広い分野で書籍・視聴覚資料などを収集している。資料の選択は、企画運営担当主査３を長とし図書館長が指名した職員による資料選定会議で行い、図書館長が決定する。児童書資料は、企画運営担当２と各図書館児童担当者が選書している。

年度	購入冊数	寄贈等冊数	除籍冊数	増減	蔵書数
3	26,184	3,806	15,550	14,440	773,385
4	31,225	3,092	12,948	21,369	794,754
5	26,615	3,061	8,409	21,267	816,021
6	18,189	3,985	13,910	8,264	824,285
7	17,714	2,392	20,533	△427	823,858

オ サービスの内容

図書館は、資料の貸出、予約及びレファレンス（図書等に対する情報の提供）をサービスの３本柱とし、児童・ティーンズ・障がい者という対象者別でもサービスを展開している。

(ア) 貸出

a 個人貸出

市内に在住、在勤又は在学者を対象とし、貸出期間は原則として１４日間。また、京王線沿線七市の連携事業の相互利用協定により、日野、稲城、八王子、府中、調布、町田の市民にも貸出をしている。

b 団体貸出

市内の各種団体を対象に長期間まとまった冊数を貸出している。

貸出冊数及び貸出期間

団体	貸出冊数（上限）	貸出期間
読書会・読み聞かせ	50冊	3ヶ月
市立小・中学校	制限なし	1ヶ月
文庫活動団体	500冊	1年
幼稚園・保育園		
市立施設		
民間施設		
児童館・学童クラブ	500冊	

※市立小・中学校への支援

市立小中学校の調べ学習のための図書の貸出を行った。

令和７年度実績

調べ学習等に対する図書の貸出（学校図書館の資料で対応できない場合に１ヶ月貸出）

小学校１７校 ７，８０１冊 中学校８校 １，９８２冊 計 ９，７８３冊

c 協力貸出

他市区町村等の図書館に多摩市の図書館資料を貸し出し、借用すること。

d 利用者数等

(a) 登録者数

単位＝人

年度	3	4	5	6	7
多摩市民	37,530	35,240	40,758	42,590	44,522
在勤在学他	566	528	945	1,154	1,360
日野市民	1,650	1,467	1,925	2,195	2,417
稲城市民	683	674	1,096	1,312	1,493
八王子市民	3,269	3,013	6,589	8,176	9,373
府中市民	606	588	688	787	816
調布市民	120	101	216	275	364
町田市民	683	572	1,616	2,150	2,581
合計	45,107	42,183	53,833	58,639	62,926
多摩市民の登録率	25.4%	23.8%	27.6%	28.7%	30.0%
多摩市民の登録者の利用率	64.8%	69.5%	71.5%	66.3%	63.7%

(b) 館別個人貸出者数

単位＝人

年度	3	4	5	6	7
中央 (本館)	131,027	142,654	232,994	296,205	310,695
東寺方	30,789	33,041	32,542	30,824	29,809
豊ヶ丘	56,043	61,847	66,595	56,313	52,541
関戸	128,075	146,754	157,985	159,424	162,501
聖ヶ丘	35,450	39,891	42,685	42,295	41,475
永山	182,466	201,630	207,287	192,496	193,157
唐木田	49,419	53,935	63,446	49,414	44,207
行政資料室	2,885	3,516	2,999	3,409	3,806
合計	616,154	683,268	806,533	830,380	838,191

(c) 館別個人貸出点数

単位＝点

年度	3	4	5	6	7
中央 (本 館)	356, 287	338, 039	477, 873	582, 857	595, 413
東寺方	81, 193	75, 495	71, 049	64, 077	61, 843
豊ヶ丘	139, 500	134, 161	136, 057	114, 622	103, 280
関 戸	276, 828	290, 668	297, 862	295, 721	297, 065
聖ヶ丘	87, 118	90, 916	89, 109	83, 865	81, 034
永 山	405, 346	409, 774	400, 726	363, 604	350, 725
唐木田	124, 539	118, 591	129, 669	96, 159	84, 076
行政資料室	5, 899	6, 186	4, 862	5, 873	6, 464
合 計	1, 476, 710	1, 463, 830	1, 607, 207	1, 606, 778	1, 579, 900

(d) 対象別貸出点数

単位＝点

年度	個人貸出	団体貸出	協力貸出	合 計
3	1, 476, 710	19, 837	7, 502	1, 504, 049
4	1, 463, 830	20, 236	7, 306	1, 491, 372
5	1, 607, 207	18, 704	5, 453	1, 631, 364
6	1, 606, 778	19, 530	6, 853	1, 633, 161
7	1, 579, 900	23, 867	7, 281	1, 611, 048

(e) 団体貸出の内訳

単位＝上段団体数・下段貸出冊数

年度	市立 小中学校	読書会 読み 聞かせ	文庫活動 団体	幼稚園 保育園	市立施設	民間施設	児童館 学童 クラブ	その他 学校	合 計
3	25 9, 089	25 2, 069	1 203	12 1, 272	7 1, 829	12 542	31 4, 788	— 45*	113 19, 837
4	25 9, 046	24 2, 450	1 86	13 1, 734	9 599	13 1, 191	29 5, 052	2 78	116 20, 236
5	25 7, 479	24 2, 604	1 121	15 2, 067	10 1, 069	16 1, 255	27 3, 886	2 223	120 18, 704
6	25 8, 545	26 2, 508	1 366	18 2, 043	11 598	13 1, 001	28 4, 345	2 124	124 19, 530
7	25 9, 783	28 2, 750	1 46	19 2, 451	12 2, 145	17 849	26 5, 687	2 156	130 23, 867

* 団体種別の振り分けが不明な団体への貸出冊数

※ (a) ～ (e) について、令和 5 年度は、5 月 7 日本館の閉館後中央図書館が 7 月 1 日開館するまでの間、中央図書館及び団体貸出室の利用を停止した

(イ) 資料の予約・リクエスト

図書館に資料がないときに、予約（市の図書館では所蔵しているが貸出中のため順番待ちの登録や他館から取り寄せること。）やリクエスト（図書館が所蔵していない資料に対して入手の希望をすること。新規購入や、都立図書館等他の図書館から借用を行う。）により資料を提供している。

予約やリクエストにより用意ができた資料は、一定期間取り置きを行っている。

単位＝件

年 度		3	4	5	6	7
所 蔵 資 料		420,599	406,076	420,276	435,897	429,519
購 入		3,080	3,234	3,326	2,723	2,789
借用	国会図書館	196	159	151	159	207
	都立図書館	3,322	3,595	3,647	3,595	3,443
	市・区立図書館	6,107	5,601	5,116	5,601	5,429
	その他	1,078	772	991	772	1,058
情報提供や紹介		65	71	57	58	94
辞 退		20,288	19,899	20,486	22,256	24,116
未 刊 行 等		176	163	258	231	189
取 消		27,832	30,881	35,783	35,495	33,077
そ の 他		1,138	1,190	831	1,397	1,317
合 計		484,369	472,217	491,144	507,962	501,238

※借用には、障がい者サービス分を含む

(ウ) 読書啓発活動

読書や図書に親しんでいただくことを目的として、各種の事業を実施している。

a 図書館報「やまばと通信」

図書館のサービス、本の紹介、主要事業の開催などの情報を掲載している。令和7年度は、6回発行した。

b 企画展示

図書館で所蔵している図書を紹介するため、季節や時事、話題になっていることをテーマとした展示を各図書館で実施している。また庁内各課と連携した地域課題をテーマにした各課連携企画展示を実施している。

c 講座やイベント等の実施

読書や図書に親しんでもらえるような講座やイベント等を図書館主催だけでなく、市民等と協働し実施している。

図書館主催イベントや講演会

	名称	講師または協力	参加	実施時期	回数	会場
1	話そう！好きな本のこと！	コーディネーター：物集女	92人	4～3月	12回	中央図書館活動室
2	中央図書館バックヤードツアー	図書館職員	31人	7/26	2回	中央図書館
3	60代からの本と語らうひととき	図書館職員 大妻女子大学 市民(医療従事者)	9人	9/20 11/22	2回	関戸図書館 聖ヶ丘図書館
4	へなそうのへや講演会「渡辺茂男翻訳作品 中期」	渡辺鉄太（児童文学作家）	20人	12/20	1回	中央図書館活動室

市民との協働イベント

	内容	講師または協力	参加	実施時期	回数	会場
1	令和6年度の市民協働イベントを振り返るフォローアップ講座を開催 「わたしたちの図書館トーク」	岡本真（アカデミック・リソース・ガイド株式会社・代表取締役）	14人	6/1	1回	中央図書館活動室
2	市民からの企画募集による協働イベントを実施 ・プラモデル体験会 ・図書館の新計画を市民のためのサービスに具体化しよう ・製本体験 ・本と。語り合い「宇宙、妖怪、本づくり」	市民	100人	12～3月	4回	中央図書館
3	市民協働イベントを決定する決定会議を開催	図書館職員	34人	9/6・3/15	2回	中央図書館

d 「本のまちプロジェクト」の実施

令和6年度から多摩市内の書店4店（啓文堂書店多摩センター店、くまざわ書店桜ヶ丘店・永山店、丸善多摩センター店）と連携し、テーマ展示やおはなし会などを実施している。また令和7年度は物価高騰対策として市内在住の小・中学生と令和8年度小学校入学予定児童に対し、書店で利用できる書店利用券を配布した。

(エ) 子ども読書支援サービス

市内のすべての子どもたちが図書館を利用し、すぐれた本と出会うようにサービスを展開している。子どもから大人へと切れ目なく読書活動を継続できるように、子どもと大人の計画を一本化して策定した「第二次多摩市読書活動振興計画」の基本方針2「一人ひとりの子どものに寄り添うサービス」に基づき、取組みを進めている。

また、「子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年制定）」に基づく会議体として位置づけた「多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会」を設置し、子どもの読書活動の推進やそれに関わるボランティア活動等の取組みについて、検討を行っている。

令和7年度は、4回開催し、関連施策の推進について検討した。

a ブックスタート 多摩市絵本かたりかけ事業

絵本をとおして親子のコミュニケーションが深まることの大切さを伝えることを目的として、健康センターで月2回行われる3～4か月児健康診査の待ち時間を活用し、市民ボランティアと協働で、乳児期から絵本に親しむことの大切さを伝えながら、絵本、ブックリスト、図書館案内などを差し上げている。

未受診者に対しては、市内各図書館、健康センター（訪問事業）において絵本の配付を行っている。

令和7年度対象者（通知発送件数）：708人

配付冊数：707人



b おはなし会の開催

- ・各図書館で図書館職員や市民ボランティア団体による「おはなし会」を毎月、企画・開催している。（各館でおはなし会だよりを発行）
- ・「ブックスタート 多摩市絵本かたりかけ事業」に関連して、乳幼児と保護者を対象に「赤ちゃんおはなし会」を開催している。

おはなし会の実施状況（定例＋赤ちゃん＋スペシャルの合計）

区分	中央	東寺方	豊ヶ丘	関戸	聖ヶ丘	永山	唐木田	合計
回数	96回	28回	23回	39回	56回	73回	36回	351回
参加人数	1,595人	269人	344人	415人	593人	823人	398人	4,437人

赤ちゃんおはなし会の実施状況（上記より抜粋）

区分	中央	東寺方	豊ヶ丘	関戸	聖ヶ丘	永山	唐木田	合計
回数	12回	4回	7回	12回	10回	29回	24回	98回
参加人数	202人	83人	80人	203人	114人	325人	294人	1,301人

c 図書館訪問

市内の小学校（2年生）に最寄りの図書館を訪問してもらい、およそ1時間のプログラムで図書館の見学、利用案内と読書案内を実施している。

d 布の絵本の購入・展示

障がいのある子もない子も楽しめる布の絵本を市民ボランティア団体に作製を依頼し購入。令和5年度から布の絵本や点字付き絵本、大活字本等を集めた「りんごの棚」を各館（行政資料室を除く）に設置し、貸し出しを行っている。

e ブックリスト等の発行及び改訂

各リストは、各図書館で希望者に配布している。また、ホームページにも掲載。

- ・『赤ちゃんから絵本を』（ブックスタート多摩市絵本かたりかけ事業で配付）
- ・『絵本はともだち』（ブックスタート多摩市絵本かたりかけ事業で配付）
- ・『絵本のきろく』（ブックスタート多摩市絵本かたりかけ事業で配付）
- ・『多摩市立図書館がおすすめする絵本のリスト』
- ・『よんでみよう！』1～6年生（市立小学校児童に学校を通じ配付）
- ・『多摩市立図書館ニュース』・『なつやすみに、これよんで！』1～3年生、保護者用
『多摩市立図書館ニュース』・『夏休みに、これ読んで！』4～6年生、保護者用
（市立小学校児童に学校を通じ配付）
- ・『多摩市立図書館ニュース』中学・高校生用（市立中学校生徒等に学校を通じ配付）

f こどもの読書週間のイベント

「こどもの読書週間」（令和7年4月18日～5月14日）では、テーマを設定して展示を行った。

テーマ：「ご紹介します！学校図書館の取り組み」

令和6年度に開催した「第16回子ども読書まつり《ほんとにもフェスタ》」で展示した、市立小・中学校作成の展示物を、各校の学区の地域館において展示した。

g 第17回子ども読書まつり《ほんとにもフェスタ》

「子どもと本を結びつける日常の活動を多くの人に知ってもらおう」ことを目的として、年度末に毎年開催している。令和7年度は、時期を夏と春の2回に分け、講演会やおはなし会を開催した。

夏に開催した講座等

	名称	講師または協力	参加者	実施日	会場
講座①	絵本作家のおしごと～絵本の絵ができるまで～	田中 六大 氏（多摩市で子育て中の絵本作家・イラストレーター）	28人 小学生向け	7/27	中央図書館 活動室1
講座②	天文学者に聞く金星のハナシ～手作り三球儀とガリレオの地動説～	萩野 正興 氏（天文学者／情報学博士）・国立天文台元特別客員研究員）	27人 中高生向け	8/19	中央図書館 活動室1
展示	図書館に地球あらわる！惑星体感Dagik Earth	自然科学研究機構 国立天文台、明星大学天文同好会「すばる」、NPO法人ダジック・アース・プロジェクト	113人	8/17 8/18	中央図書館 活動室2・3

春に開催した講座等

	名称	講師または協力	参加	実施日	会場
展示	ほんともフェスタ 「ほんとはともだち！」展示	主催：図書館 協力：市立小中学校、おはなし会市民ボランティア団体など	自由鑑賞	2/28 ～ 4/1	グリーンドーム永山 中央図書館
講座	現役声優が語る 「伝わる声」の魔法	氷上 恭子氏 (声優・俳優・ナレーター)	38人 対象者 大人	3/28	中央図書館 活動室1
その他イベント	「この絵本 だいすき！～みんなでよもう♡」	主催：多摩市文庫連絡協議会 協力：図書館	22人	3/29	中央図書館 活動室2・3

ほんともスペシャルおはなし会（令和8年3月、各図書館にて開催）

開催日数	開催回数	参加人数	読み手
16日間	41回	延べ595人 (内訳) 子ども：350人 大人：245人	図書館職員・ おはなし会ボランティア団体

スタンプラリー（令和8年3月、各図書館に設置し実施）

令和7年度は、おはなし会への参加でもスタンプマスを進められる方法で開催した。

開催期間	景品配付枚数	おはなし会参加専用シール配付枚数	共催
3/1～3/31	絵柄シール：742枚 カード：577枚	224枚	企画課

h 子どもの読書に関する主催講座

子どもや子どもの本に関わる活動をしている大人のための講座を開催しました。

	名称	講師	参加者	実施日	会場
1	「絵本の森」	図書館職員	10組 (20人)	11/13	唐木田児童館 遊戯室
2	読み聞かせ講座 (初級) 全3回	都立多摩図書館 司書	28人	5/24・5/31・ 6/21	中央図書館 活動室1
3	読み聞かせ講座 (中級)	都立多摩図書館 司書	21人	9/27	中央図書館 活動室1
4	現役声優が語る 「伝わる声」の魔法 ※	氷上 恭子氏	38人	3/28	中央図書館 活動室1

※g 第17回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》実施講座の再掲

i 学校・他機関・市民等との連携

- ・図書館訪問・職場体験学習以外の総合学習や見学等の受け入れ
- ・学校図書館司書の研修会への参加
- ・都立多摩桜の丘学園の総合学習の受入れ
- ・児童館の0歳児、幼児の時間、市立保育園でのおはなし会等の実施
- ・多摩市文庫連絡協議会主催の「文庫展」へ読み手として参加及び開催協力
- ・情報誌「わくわく通信」への子育て情報提供
- ・多摩中央公園と連携したおはなし会などのイベントの実施
- ・無印良品ココリア多摩センター店と連携したSDGsに関連したおはなし会の実施
- ・都立桜ヶ丘公園主催事業での読み聞かせの実施
- ・市民と協働したイベント、講座の実施

j 大学との提携

近隣の大学と連携し、イベントや企画展示を実施しました。

イベント

	名称	講師または協力	参加	実施日	会場
1	デジタルアクセシビリティワークショップ ・いろもじ探検隊 ・もじのせかいとふしぎなメガネ	主催：大妻女子大学 協力：図書館	—	10/5 10/11	中央図書館 サテライトカウンター前
2	ビブリオバトル ・小学5年～高校生 ・大学生～一般	主催：図書館 共催：大妻女子大学 協力：帝京大学	発表者 10人 観戦者 36人	11/9	中央図書館 サテライトカウンター前

展示

	名称	協力	実施期間	展示場所
1	「大妻女子大学教員が伝えたい人間関係と地域共生のヒント」	主催：大妻女子大学 協力：図書館	5/8～6/1	中央図書館 サテライトカウンター小
2	「多摩大学の本棚」	主催：多摩大学 協力：図書館	10/1 11/3	中央図書館 サテライトカウンター小
3	とうきょうの木 学び場プロジェクト「モクモク モリモリ ヌクモリ」	主催：東京造形大学 共催：TOKYO MOKUNAVI 協力：図書館	11/7 11/19	中央図書館 ステッププラザ
4	「コロコロ ハニカム」	主催：明星大学 協力：図書館	1/26 2/12	中央図書館 ステッププラザ

(オ) 10代の子どもへのサービス

- ・大人の読書への橋渡しとして、10代の子ども向けの資料の充実を図っている。
- ・企画展示や利用者自身によるお薦め本の展示等を行ない、利用を促進している。
- ・各図書館にティーンズコーナーを設置し、本に囲まれた気持ちの良い居場所となるようにしている。
- ・中央図書館の2階は、おしゃべり可能なエリアとしており、自由に集えるようテーブルや椅子を配置している。「朝日中高生新聞」の閲覧を継続している。

a 職場体験の受け入れ

次の目的が達成できるよう、中学生（特別支援学級含む）の職場体験を受け入れている。

- ・地域の人との「出会い・ふれあい」を大切にし、思いやりの心を養う。
- ・実際に働き、仕事について学び、マナーや礼儀作法などの社会性を身につける。
- ・職場での体験を通して多くのことを感じ、新しい自己発見・自己理解をする機会とする。

(カ) 障がい者サービス

何らかの障がいのため図書館利用が困難な人の読書要求に応じている。令和4年度まで永山図書館で行ってきた障がい者サービスの拠点機能を、令和5年7月以降は、中央図書館に移管した。

a 録音図書・録音雑誌（テープ・デージー）及び点字図書の作製・提供

音訳者の方々の協力を得て作製した自館作製録音図서가4タイトル、録音雑誌が2誌18タイトル、点字資料を2タイトル作製した。録音雑誌の「声のやまばと通信」は、PRの手段として作製し利用者へ隔月で送付している。内容は、図書館報「やまばと通信」、障がい者サービスからのお知らせ、録音・点訳図書の新作内容や新しく出版された図書の情報などである。国立国会図書館の視覚障がい者等用データベースに、多摩市立図書館で作製したデージー図書、デージー雑誌のデータ提供を平成26年9月から、点字図書のデータ提供を平成28年2月から開始し、ダウンロードやストリーミングにて利用されている。

令和7年度実績

単位＝件

	録音図書 (テープ・ デージー)	録音雑誌 (テープ・ デージー)	点字図書
貸出件数	88	389	0
借用貸出件数 (点字図書館、市区立図書館から)	1,109	76	0
国会図書館データベースダウンロード件数	3,251	639	39
国会図書館データベースデータ提供数	177	139	47

b 対面朗読

利用者の希望する図書等を直接、対面式で音訳者が読むサービス。

対面朗読室のある永山図書館などで開館時間内、図書館以外の公共施設ではその施設の利用時間内で実施している。

令和7年度実績

実施回数 51回

実施時間数 102時間

c 宅配サービス

図書館に来館することが困難な利用者が希望する図書・雑誌・録音図書などを自宅や入所施設まで届けている。利用者への宅配と返却本の回収は、おもにボランティアの方をお願いしている。

令和7年度実績 宅配回数 72回

d 視覚等障がい者用情報機器

中央図書館に文字等を合成音声で読み上げる機器や、点字ディスプレイ、点字プリンタ、デイジー再生機などの情報機器を設置し、利用者・音訳者・点訳者の使用に供している。据置型の拡大読書器は、令和元年度より中央図書館、永山図書館、関戸図書館に設置している。

f 音訳者等研修会

録音図書や点字図書の作製や対面朗読に関わる音訳者、点訳者の育成講習会や音訳技術の向上を目的とする研修会を開催している。

	名称	講師	参加者	実施日	会場
1	DAISY編集者養成講習会 (レベルアップ講習会)	特定非営利活動 法人DAISY TOKYO	8人	1/28・2/25・ 2/26	中央図書館 活動室

(キ) 電子図書館サービス

電子図書館サービスはパソコンやタブレット、スマートフォン等から、多摩市立図書館の電子書籍（小説や実用書、子ども向けの絵本やよみもの、オーディオブックなど）の閲覧・貸出、予約ができ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の中、非来館型の情報提供サービスとして、令和3年1月25日からサービスを開始した。電子図書館を利用できる方は、多摩市立図書館の利用者登録をしている在住・在勤・在学のパスワード登録者。令和5年4月からは電子雑誌閲覧サービス及び音楽配信データベースの閲覧サービスを開始した。令和7年1月からは児童書の読み放題パックのサービスを開始しているほか、多摩市や図書館が作成した広報紙等を多摩市独自資料として電子書籍化し掲載しています。

市民への周知のため定期的に説明会を開催しています。

利用状況

年度	電子書籍 コンテンツ数	ログイン数	閲覧数	貸出数	予約数
3	6,943タイトル	30,528回	35,880回	12,471回	1,510回
4	6,270タイトル	24,538回	33,712回	11,626回	1,240回
5	5,767タイトル	28,527回	41,630回	12,394回	1,812回
6	5,767タイトル	30,068回	39,702回	11,502回	2,133回
7	5,396タイトル	30,751回	39,259回	10,552回	2,172回

説明会等の実施状況

	名称	講師または協力	参加	実施時期	回数	会場
1	電子図書館使ってみよう！	図書館職員	22人	4～3月	6回	中央図書館 活動室
2	スマートフォン教室（電子図書館）	携帯電話事業者	40人	4～3月	13回	ソフトバンク ココリア 多摩センター店・永山店
3	高齢者向けスマートフォン教室（説明会 全4回）	東京都	19人	3/9～3/12	1回	中央図書館 活動室

(7) 地域資料・貴重資料等のデジタルアーカイブ事業

デジタルアーカイブは、図書、出版物、博物品、歴史的資料等公共的な知的財産をデジタル化し、インターネット上で電子情報として共有・利用できる仕組みです。

資料の経年劣化等の理由により一般公開していない図書館所蔵の貴重資料と『多摩市史』等多摩市に関する記録（地域資料）をデジタル化し、「多摩市デジタルアーカイブ」を構築しています。

多摩市デジタルアーカイブは、令和3年1月25日に開始しました。

市指定有形文化財「調布玉川惣画図」等の貴重資料、多摩市史、埋蔵文化財発掘調査による出土遺物、古地図や和装本等は、令和2年度より公開しています。

令和3年度より、以下のコンテンツを順次公開しています。

- ・『小・中学校学習用コンテンツ』は、多摩市立小学校、中学校の社会科で使用している社会科副読本『わたしたちの多摩市（小学3・4年生用）』・『のびゆく多摩市（中学生用）』をはじめ、『多摩市史』、『調布玉川惣画図』、『縄文土器』など、子どもたちの学習、多摩地域の歴史研究に役立つデジタルコンテンツです。
- ・『パノラマから見る多摩市』は、上空から空撮したパノラマから、多摩市全域を見ることができます。小・中学校の写真と校歌や文化財、多摩市の特色である緑豊かな公園、数多く設置されている橋梁、ニュータウン開発区域の住宅地等を紹介しています。
- ・『多摩市の文化財』は、「旧多摩聖蹟記念館」、「旧有山家住宅」、「旧加藤家住宅」、「旧富澤家住宅」を立体映像で紹介しています。

- ・『多摩の民話』は、「おしゃもじさま」をデジタル紙芝居で、「ヨウカゾウ」「セイノカミ」「今昔「くらしぶり図絵」を動画で紹介しています。
- ・『多摩市の郷土写真』は、市が収集した多摩村の時代やニュータウン開発当時の写真などを紹介しています。
- ・『多摩市市制施行50周年記念誌』は、多摩市市制施行50周年記念事業の一環として、2021（令和3）年12月に刊行した記念誌です。
- ・令和7年度より、『多摩市の文化財記録映像』を公開しています。多摩村時代からの映像を紹介しています。

（ケ） 京王線沿線七市の図書館連携事業

平成20年4月1日から、京王線沿線七市連携事業として、八王子、府中、調布、町田、日野、稲城、多摩市の図書館で相互利用を開始しました。それまで、日野市、稲城市と相互利用の協定を結んでいましたが、その範囲が七市に拡大されました。サービスの内容や利用方法は各市で定める条例、規則等に基づいて実施され、予約などのサービスについては一部制限がありますが、多摩市民は京王線沿線七市の図書館を利用できます。

Ⅱ 施設利用実績

1 学校開放

施 設 \ 年 度		3	4	5	6	7
体育館	件数	3,799	6,470	7,021	7,257	7,625
	人数	60,015	104,130	119,827	131,310	136,223
校庭	件数	2,232	2,533	2,580	2,610	2,448
	人数	84,886	92,213	100,984	101,208	92,046
教室	件数	340	1,065	1,185	1,196	1,228
	人数	5,732	16,927	23,523	26,210	24,915
テニスコート	件数	531	610	736	727	655
	人数	5,895	7,121	8,101	7,943	6,714
夜間照明設備付 校庭	件数	381	431	478	474	518
	人数	11,565	14,092	14,541	13,985	16,108
陶芸窯	件数	18	48	43	42	38
	人数	84	207	184	182	165
クラブハウス	件数	3,292	4,505	4,689	4,342	4,208
	人数	29,400	41,075	44,140	41,089	40,685
合計	件数	10,593	15,662	16,732	16,648	16,720
	人数	197,577	275,765	311,300	321,927	316,856

2 古民家

開館日数・来館者数

施設名称 年度	旧有山家・旧加藤家		旧富澤家	
	開館日数	来館者数	開館日数	来館者数
3	297日	11,588人	273日	24,790人
4	308日	9,408人	284日	26,611人
5	309日	8,993人	96日	8,113人
6	303日	8,228人	—	—
7	308日	7,358人	280日	33,115人

※

※

※旧富澤家は多摩中央公園改修工事に伴い、令和5年8月から令和7年3月まで休館

3 旧多摩聖蹟記念館

開館日数・来館者数・ギャラリー使用件数

年 度	開館日数	来館者数	ギャラリー使用件数
3	228日	12,598人	0件
4	186日	8,232人	1件
5	239日	9,489人	0件
6	233日	11,204人	1件
7	241日	10,921人	0件

4 多摩ふるさと資料館

総見学者数 [※令和3年度まで文化財資料室、()内は多摩第三小学校見学者数]

年 度	3	4	5	6	7
見学者数	107人(53人)	5,106人	5,480人	5,667人	7,699人

5 公民館

開館日数		休館日数
平日	219	29
土	50	
日・休	67	

(1) 永山公民館

施設	使用可能 件数	一般	市役所 関係	主催	計	使用率	使用人数
ベルブホール	1,008	351	124	117	592	58.7%	27,838
第1音楽室	1,008	852	22	13	887	88.0%	10,173
第2音楽室	1,008	688	6	11	705	69.9%	2,099
集会室	1,008	816	22	51	889	88.2%	13,744
学習室	1,008	752	11	17	780	77.4%	5,858
視聴覚室	1,008	570	60	45	675	67.0%	8,872
創作室	1,008	614	7	16	637	63.2%	4,556
和室	1,008	775	23	9	807	80.1%	4,713
第1保育室	1,008	28	7	85	120	11.9%	1,386
第2保育室	1,008	64	15	85	164	16.3%	1,568
ギャラリー	1,008	366	156	237	759	75.3%	-
計	11,088	5,876	453	686	7,015	63.3%	80,807
前年度	11,121	6,247	363	447	7,057	63.5%	77,572

※使用件数は、午前/午後/夜間の施設予約・利用枠単位での計上

開館日数		休館日数
平日	222	26
土	51	
日・休	66	

(2) 関戸公民館

施設	使用可能 件数	一般	市役所 関係	主催	計	使用率	使用人数
ヴィータホール	1,017	298	70	148	516	50.7%	25,802
第1学習室	1,017	366	108	100	574	56.4%	10,215
第2学習室	1,017	340	108	95	543	53.4%	9,752
(大会議室)	251	92	89	70	251	-	6,205
第3学習室	1,017	633	54	29	716	70.4%	7,909
和室1	1,017	475	24	21	520	51.1%	4,878
和室2	1,017	444	26	19	489	48.1%	3,943
茶室	1,017	280	6	13	299	29.4%	1,398
創作室	1,017	515	13	62	590	58.0%	5,968
スタジオ	1,017	819	0	12	831	81.7%	7,403
保育室	1,017	74	20	71	165	16.2%	850
ギャラリー	1,017	213	162	96	471	46.3%	-
計	11,187	4,457	591	666	5,714	51.1%	78,118
前年度	11,187	4,375	529	584	5,488	49.1%	70,268

※使用件数は、午前/午後/夜間の施設予約・利用枠単位での計上

※大会議室は第1学習室・第2学習室での集計を再掲

6 図書館

施設利用実績（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

単位：件

施設名		図書館主催事業	公用使用	市民団体	合計
中央図書館	活動室 1	76	75	20	171
	活動室 2	29	11	3	43
	活動室 3	57	1	55	113
	活動室 2+3	44	35	9	88
関戸図書館活動室		91	0	13	104

※利用件数は、午前/午後/夜間の施設予約・利用枠単位での計上

7 ハヶ岳少年自然の家

ア 宿泊者数（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

単位：人

区 分	未就学児童	小学生	中学生	高校生	大 人	合 計
市 内	82	7,789	3,674	66	1,436	13,047
市 外	932	5,789	317	526	3,709	11,273
合 計	1,014	13,578	3,991	592	5,145	24,320

イ 利用団体数と延利用者数（令和7年4月1日～令和8年3月31日）単位：団体・人

区 分	小中学校	少年団体	一般団体	その他	視察等	合 計
団体数	43	28	221	6	26	324
延利用者数	9,335	4,046	7,901	724	120	22,126

※延利用者数の日帰り利用は「1」、1泊2日は「2」、2泊3日は「3」として集計

刊行物一覧

名 称	発行時期	発行部数	規 格	頁数	配 付 先	担 当 課
多摩市の教育(令和7年度版) 〔7年度データ及び6年度実績〕	R7年9月	35	A4	170	関係機関	教育振興課
多摩市教育委員会だより	年5回				各小・中学校、 関係機関	教育振興課
第96号	R7年5月	15,100	A4	4		
第97号	7月	15,100	A4	4		
第98号	11月	15,200	A4	6		
第99号	R8年1月	14,000	A4	4		
第100号	3月	14,000	A4	6		
令和7年度多摩市教育委員会事務点 検評価報告書(令和6年度事務対象)	R7年11月	68	A4	70	関係機関	教育振興課
多摩市立学校児童・生徒並びに教職 員の各種健康診断実施要領及び環 境衛生検査実施要領 (多摩市学校保健計画)(令和8年度)	R8年3月	190	A4	162	各小・中学校、 関係機関	学校支援課
3・4年社会科副読本 「わたしたちの多摩市」	R8年3月	多摩市デジ タルアーカイ ブで公開	A4	145	公立小学校、他	教育指導課
小学校1年生副読本 「多摩市かがやきブック」	R8年3月	1,200	B5	20	公立小学校	教育センター
多摩市立教育センター活動報告書 (令和6年度)	R7年8月	100	A4	46	関係機関	教育センター
第三次多摩市特別支援教育推進計 画	R8年2月	40	A4	97	各小中学校	教育センター
献立表／給食だより	毎月 (8月を除く)	月 9,490	A4	2	各小・中学校	学校給食セン ター
きゅうしょくメモカレンダー	毎月 (8月を除く)	月 305	B4	2	各小学校 (クラス数)	学校給食セン ター

名 称	発行時期	発行部数	規 格	頁数	配 付 先	担 当 課
旧多摩聖蹟記念館広報「雑木林」	年 6 回	各 1,300	A4	8	各小・中学校、 関係機関、関係者、 市民等	教育振興課
公民館通信「たのしいまち」	年 6 回	各 2,000	A4	4	各小・中学校、 関係機関、団体、 市民	公 民 館
やまばと通信	年 6 回	各 800	A3 二つ折り	4	市民、関係機関	図 書 館
多摩市の図書館 ～令和 6 年度事業報告～	R7 年 8 月	180	A4	111	関係機関、市民等 (販売)	図 書 館
よんでみよう！ 1 年生～6 年生	年 1 回	1～6 年 合計 8,900	B4 三つ折り	2	各小学校、市民	図 書 館
多摩市立図書館ニュース 1～3 年生、4～6 年生（保護者）	年 1 回	全 2 種類 合計 8,900	A3 二つ折り	4	各小学校、市民	図 書 館
多摩市立図書館ニュース 中学・高校生向け	年 1 回	4,500	A4 二つ折り	4	各中学校、市内都 立高校、特別支援 学校、市民	図 書 館
夏休みに、これ読んで！ 1～3 年生、4～6 年生（保護者）	年 1 回	全 2 種類 合計 9,500	A4	2	各小学校、市民	図 書 館
第二次多摩市読書活動振興計画	R7 年 9 月	210	A4	164	関係者、関係機関、 市民等（販売）	図 書 館
国登録有形文化財（建造物）川井家 住宅主屋及び旧川井家住宅土蔵保 存活用計画	R8.2 月	200	A4	136	関係者、関係機関 等	教育振興課

各種委員

※掲載基準日は、令和7年度末（令和8年3月31日）

※敬称略

<多摩市立学校給食センター運営委員会委員>

氏 名	選 任 区 分	氏 名	選 任 区 分
◎井戸 しのぶ	多摩市立小中学校校長代表	片岡 諒子	多摩市立小中学校給食主任代表
竹田 和彦	〃	倉田 真実	〃
島雄 志織	多摩市立小中学校保護者代表	横井 朱里	公募市民
○中馬 幸代	〃	増田 明男	〃
寺村 渉	所轄保健所長が指名した者	欠 員	〃
土岐田 佳子	学識経験者	小野 澤 史	関係行政機関の職員
丸橋 亮子	〃		
井上 雅美	〃		

◎は会長、○は副会長

<多摩市立教育センター運営委員会委員>

氏 名	選 任 区 分	氏 名	選 任 区 分
○角南 なおみ	学識経験者	郡 司 実	多摩市公立小学校副校長 会代表
◎水野 裕司	多摩市公立小学校校長 会代表	鈴木 悠平	多摩市公立中学校副校長 会代表
高橋 篤	多摩市公立中学校校長 会代表	伊藤 未来	多摩市立小学校PTA連 絡協議会代表
齋藤 幸之介	多摩市立特別支援学級設 置学校長代表	大木 雅俊	多摩市立中学校PTA連 合会代表

◎は会長、○は副会長

<多摩市特別支援教育推進委員会委員>

氏 名	選 任 区 分
◎小 貫 悟	学識経験者
○水野 裕司	多摩市立小学校長
○福田 洋一	多摩市立中学校長
山本 勝敏	教育部参事 教育指導課長事務取扱
櫻田 芳恵	教育部 学校支援課長
豊島 佳代	教育部 教育センター長

◎は委員長、○は副委員長

＜多摩市学びあい育ちあい推進審議会委員＞

氏 名	選 任 区 分	氏 名	選 任 区 分
榎 藤 義 彦	学校教育関係者	○田 中 優	学識経験者
小 野 和 歌 子	社会教育関係者	西 山 規 子	公民館利用者代表
布 施 栄 子	〃	倉 品 みゆき	公募市民
細 田 雅 美	家庭教育関係者	高 橋 祥 子	図書館協議会代表
◎長 島 剛	学識経験者	横 倉 敏 郎	文化財保護審議会代表

◎は会長、○は副会長

＜多摩市文化財保護審議会委員＞

氏 名	専 門 分 野	氏 名	専 門 分 野
○青 木 敬	考古学	沼 田 真 也	自然史
江 里 口 友 子	日本美術史・東洋美術史	宮 間 純 一	日本近代史
加 藤 幸 治	民俗学・民具学	横 倉 敏 郎	地域史
桜 井 昭 男	近世・近代史	◎渡 辺 洋 子	建築
津 田 徹 英	日本仏教彫刻・絵画史		

◎は会長、○は副会長

＜多摩市図書館協議会委員＞

氏 名	選 任 区 分	氏 名	選 任 区 分
板 澤 康 矩	学校教育関係者	○間 部 豊	学識経験者
高 橋 祥 子	社会教育関係者	伊 澤 桂 子	図書館利用者
比 企 克 司	家庭教育関係者	須 浪 友 紀 子	図書館利用者
◎深 水 浩 司	学識経験者		

◎は会長、○は副会長

